



The 89th Annual Concert

GLEE CLUB
DOSHISHA UNIVERSITY
FORMALLY ORGANIZED IN 1901



Clarke Memorial Hall

Doshisha College Song

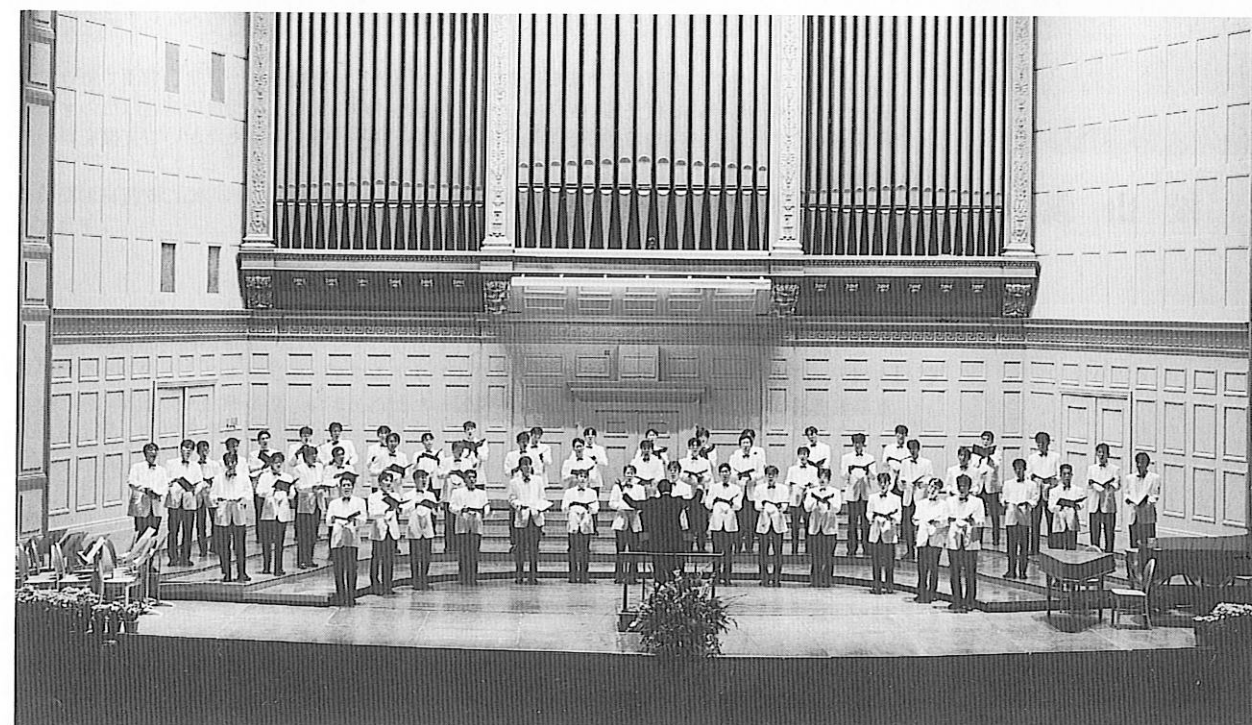
*One purpose Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim.
To train thy sons in heart and hand
To live for God and Native Land.
Dear Alma Mater sons of thine
Shall be as branches to the vine.
Tho' through the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide.*

*Still broader than our land of birth
We've learned the oneness of our Earth
Still higher than selflove we find
The love and service of mankind
Dear Alma Mater sons of thine
Would strive to live the life divine
That we may with increasing years have stood
For God, for Doshisha and Brotherhood*

第 89 回

同志社グリークラブ定期演奏会

1993年12月13日(月) ザ・シンフォニーホール



Boston Symphony Hall

御 挨拶

本年も瞬く間に師走に入り、日毎寒さが募る季節がやって参りました。御来場の皆様方におかれましては、益々御清祥の御事と慶賀申し上げます。

本日はお忙しい中、同志社グリークラブ第89回定期演奏会にお越し下さいまして、誠に有難う御座います。

私共は、今宵のステージで、お客様と感動を分かち合うことが出来ますように、個々人が精一杯音楽をしようと、地道な練習を積み重ねて参りました。唯一度の演奏会のために素晴らしい音楽を追求することは、人生に於いて見果てぬ夢を追いつけることと同じような気が致します。妥協しない限り、終りが無いのです。「結果がすべてだ」などということが、ともすれば言われる現代に於いて、このような境遇に身を置くことは、非常に貴重で、幸せなことだと思っております。その中で、若者らしく、情熱をもって歩んで参りました私共の「過程」を皆様に、音楽を通してお伝え出来ましたならば、それは望外の喜びであります。同志社グリーは来年、90周年という節目を迎えますが、長い伝統の上に胡座をかくことなく、音楽に対して素直に謙虚に、そして飽くなき情熱を燃やし、取り組んで行かねばと部員一同、決意を新たに致しております。

最後になりましたが、熱意溢れる御指導を下さいました諸先生方、諸先輩方、並びに本演奏会の開催に御協力下さいました皆様方に、部員を代表して厚く御礼申し上げます。

同志社グリークラブ幹事長 佐野 泰弘



同志社総長

松山義則



同志社グリークラブ顧問

澁谷昭彦

同志社グリークラブ
OB会会長

松村時男

本日同志社グリークラブ定期演奏会が、音楽を愛する多くの方々のご出席を得て開催されますことを心からうれしく存じます。

同志社は1875年新島襄が山本覚馬とJ. デーヴィスの助けを受けて祈りのうちに創立された、キリスト教主義教育を基本とする歴史と伝統をもつ学園であります。同志社創立までには、幾重もの困難が先生の前にたちだかりましたが、深い信仰とあふれる情熱にささえられた先生は、苦勞のすえ、それらの障害をのりこえられたのであります。わが国に一つのキリスト教主義大学を創設するという先生の願いは多くの人びとによって受け継がれ、100年を超える歳月にわたって、自治、自由、良心に生きる若き人びとの集うところとなりました。

今年は新島襄生誕 150年にあたり、この記念すべき年にグリークラブは新島襄メモリアルツアーを企画され、先生が学ばれたニューイングランドのフィリップス・アカデミー、アーモスト大学、アンドーヴァー神学校や学校設立の演説をされたラットランドのグレース教会等とコンサートを通じて文化交流を深め、多大の成果をあげられたことはグリークラブのみならず同志社として光栄に存じております。

同志社グリークラブも本年創立89周年を迎えました輝かしい伝統をもつ学生合唱団であります。グリークラブは、献身的な諸先輩の努力によって築きあげられました。団員の諸君はこのすばらしい伝統を受け継ぎ、さらなる発展を期して日々研鑽を積み皆さまのあたたいご支援をいただいておりますことは大きなほこりと存じます。

今宵は、団員の心を込めた演奏に心耳を傾けていただき、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

今年のグリークラブの活動は、例年になく、新島襄、同志社にかかわるものが多かった。一つは、7月23日～29日の北海道・東北夏期演奏旅行であり、今一つは、9月15日～23日のアメリカ演奏旅行、新島襄先生生誕 150年記念「新島襄メモリアルツアー～アーモストへの旅～」である。

夏期演奏旅行では、新島襄が国禁を犯して脱国した函館、また、新島襄がその函館に向かう途中、津軽海峡の潮流と強風に妨げられ寄港した青森県下北半島間浦村（昨年10月「同志社創立者新島襄先生寄港の地」碑建立）、そして、むつ市下北文化会館で、演奏会を開催した。

一方、アメリカ演奏旅行では、新島襄が日本にキリスト教主義の学校を設立することを訴え、\$5,000の寄付を得た Vermont 州 Rutland の Grace Church、先生の学んだ Phillips Academy、Amherst College、Andover Theological Seminary、牧師になるための按手礼を受けた Boston の Old South Church、それに、Boston Symphony Hallなどでの、演奏会、礼拝、レセプション、その他の諸行事に、OBのクローバークラブ、同志社各校卒業生、その家族、友人らとともに、参加した。

この二つの旅行を通して、同志社の掲げてたつキリスト教主義、国際主義、自由主義の伝統、良心教育、知徳体三位一体の全人教育の基に触れ、「同志社精神」「新島精神」と呼ばれるものの一端を学び得たことと思う。

これらの国内、国外の新島襄ゆかりの地、同志社のルーツをたどる演奏旅行を終え、いま、定期演奏会を迎えようとしている。同志社精神、新島精神の発露のひとつとして生まれたグリークラブの、グリークラブたる所以は何か。定期演奏会では、そのアイデンティティをさらに追求し、より明確に提示することが求められている。

第89回定期演奏会を迎え、まずはおめでとうと言いたい。今年は例年のスケジュールに加えてアメリカへの演奏旅行があり、一段と過密なものとなったことと思うが、日頃の練習の成果を思う存分に発揮し、最高峰の名に恥じない素晴らしい演奏を聞かせてもらえるものと期待する。第89回定期演奏会と聞いて、当然の事ながら、来年は第90回を迎えると思うと、ひとしお感慨深いものがある。僅か数人のグループで聖歌隊として歌い始められた同志社グリー・クラブも、今や百名を超える大きな組織となっている。約90年前より諸先輩によって、築き、積み重ねられた伝統と誇りを守り、今後も切磋琢磨努力を重ねてもらいたい。

昨今は、あらゆる面で恵まれており、技術的にも著しい進歩を成し欧州演奏旅行も恒例行事となっている。これらを決して否定しようとするものではないが、ともすれば華美に流れがちになり、本質的な姿を少しずつ見失いつつあるのでは、と危惧しないでもない。絶えず自分達のあるべき姿を忘れないでもらいたい。

グリークラブ在籍は長くても四年が限度である。泣いても笑ってもこの僅か四年に学生生活の全てと言っても過言でないグリークラブの思い出が刻み込まれる。そして、卒業後、度々行われる同期会でもそれらの思い出が繰り返し語られる。それでいながら、不思議なことに、その同じ話題がいつも新鮮に聞こえて来るのはやはり、グリー・メンだけの特権なのだろうか。

さて、第89回定期演奏会、89年前からの貴重な積み重ねであり、グリー・クラブの歴史の一ページとなるこの日の演奏会、素晴らしい演奏会として欲しい。今年は、グリー・クラブをこよなく愛したクローバークラブの生みの親である、初代グリー・クラブOB会々長松本寛二氏が召天されたが、今夜は天国から君達の演奏をきくと見守っておられることと思う。

関西学院グリークラブ

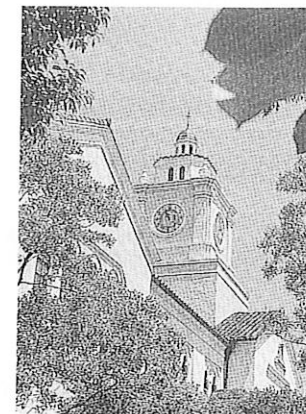
第89回同志社グリークラブ定期演奏会の御開催おめでとうございます。部員一同心よりお祝い申し上げます。

貴団とは、同関交歓演奏会、東西四連、そして関西六連と、御一緒する機会も多く、また距離的にも近いという事から、お互いに良きライバル、良き友として切磋琢磨し合ってきました。

そのような良きライバルであり、良き友でもあります皆様の今にも爆発せんとする、力強い歌声、大胆かつ繊細なハーモニー、皆様方の音楽に賭ける激しい情熱には、我々は圧倒されんばかりです。更に貴団にとっては、この一年の集大成、期待するなというのが無理であるというように思われます。

年の瀬も迫り、にわかに慌ただしくなってくるこの季節に、貴団の心に迫る演奏が、会場の皆様一人一人の心を掴み、魅了することによってございましょう。ちょっとお早いですが、素敵なプレゼントになるでしょう。我々もそのプレゼントの分け前を頂くのではなく、1月に開く、我々のリサイクルに活かして行こうと思います。その時は、フェスティバルホールで待っているの、是非どうぞ。

最後になりましたが、今宵の演奏会の成功を、そして今後の一層の御発展をお祈り申し上げます。



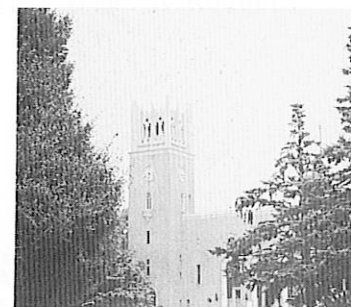
早稲田大学グリークラブ

同志社グリークラブの皆様、第89回定期演奏会の御開催おめでとうございます。部員一同、心よりお祝い申し上げます。

貴団は早稲田グリーにとりまして、西と東とに生活の場は離れておりますが、断えず素晴らしい演奏をもって私共に刺激を与えてくれるライバルであり、同時にお互いの心の通い合う良き友であると信じております。思えば今年六月の東西四連で貴団と御一緒させていただきました時、貴団の歌に賭ける溢れんばかりの情熱とそこから生まれる力強くして繊細なハーモニー、そして何といっても演奏会後の打ち上げにおける大胆な飲みっぷりに、私共はただ脱帽するばかりであったことを思い出します。

あれからもう半年近くが過ぎようとしていますが、この慌ただしい年の瀬にふと足をとめて貴団の演奏に耳を傾ける機会を得たことは、私共にとりましてこの上ない喜びであります。今宵もきっと心温まる歌声で私共を魅了し、合唱界の一頁に新たな伝説を書き加えられることと期待しております。

最後になりましたが、本日の演奏会の御成功と皆様の一層の御発展を心よりお祈り申し上げます。



慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

同志社グリークラブの皆様、第89回定期演奏会の御開催を部員一同心よりお祝い申し上げます。

皆様の音楽に対する崇高な理念と、純粋に音楽を愛し、更に素晴らしい音楽を追求する真摯な態度は、常に私達に音楽に関わる者としての取るべき姿勢を思い起こさせ、そしてその喜びを感じさせてくれて止みません。今までの伝統のみならず、日頃の厳しい練習、そして多大なる努力に裏打ちされた皆様のステージは、きっと今夜もその重厚なハーモニーと力溢れる歌声とあいまって、常に聴く者の心を捕え、尽きることのない感動を呼び起こす事でしょう。

昨年のヨーロッパに引き続き、今年もアメリカでの演奏旅行と実に世界的にも活躍なさっている皆様と、毎年東西四連で御一緒できるのは、私達にとってはこのうえない喜びです。共に歌い、音楽を越えて様々な面で皆様と交流することによって得るものはとても大きく、私達の次なる活力となってくれます。今夜も皆様の重厚で力強い歌声が、聴く者の心を掴み、情しめない拍手と歓声を私達のいる東京まで鳴り響かせてくれることでしょう。

最後になりましたが、本日の演奏会の御成功と皆様の今後益々の御発展、御活躍を心よりお祈り申し上げます。



DOSHISHA COLLEGE SONG

作詩：W.M.Vories／作曲：Carl Wihelm

STAGE 1

男声合唱曲 『永訣の朝』

指揮：福田 研二

ピアノ：長田 育忠

作詩：宮沢 賢治／作曲：鈴木 憲夫

STAGE 2

『祈りの風景』

指揮：本山 秀毅

オルガン：長田 育忠

パーカッション：小川真由子

「de profundis」

作曲：arvo pärt

「動物たちのコラール第IV集」

作曲：萩原 英彦

— INTERMISSION —

STAGE 3

指揮：福田 研二

ピアノ：戎 洋子

MUSICAL 『SOUTH PACIFIC』

Some Enchanted Evening

There is nothing like a dame

“dites - moi”

Happy Talk

Bali - Ha'i

作詞：O.Hammerstein 2nd／作曲：R.Rodgers

編曲：福永陽一郎

STAGE 4

指揮：佐渡 裕

革命詩人による「十の詩曲」より

『六つの男声合唱曲集』

雄々しく進もう

果てなき荒野

死刑の戦士

怒りの日

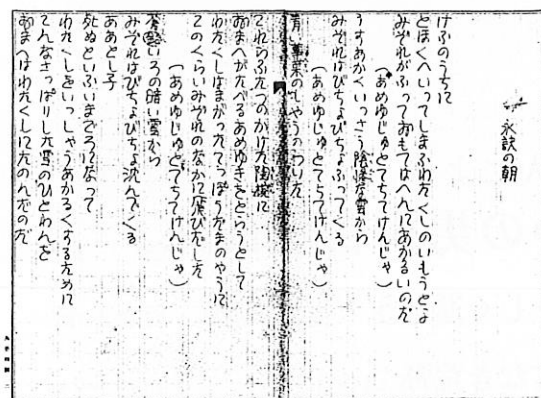
鎮魂歌

歌

作詩：安田 二郎／作曲：D.Shostakovich

男声合唱曲 永訣の朝

演奏によせて／福田 研二



詩集『春と修羅』に収録されている「永訣の朝」原稿第一葉

「生きることの苦」を常に感じながら過ごした詩人、それが宮沢賢治であったように、私には思われます。

賢治の詩集に「春と修羅」というのがあります。修羅とは、いわゆる修羅道を指し、仏教で言う六道（天上道、人間道、修羅道、畜生道、餓鬼道、地獄道）の一つに当たります。この修羅道は、戦いを好み、ねたみ、そねみなど様々な欲望にかられていることを言います。賢治自身も、そういった自己の内面の修羅性を、ことさら強く意識し、それがあつたと言います。賢治自身も、そういった自己の内面の修羅性を、ことさら強く意識し、それがあつたとも言えます。つまり、自己の内にある修羅を見つめれば見つめるほど、もっとまっすぐに生きたい、人のために生きたいと願ったとは、言えないでしょうか。あの詩も、最後は、「サウイフモノニ ワタシ ハナリタイ」と綴られています。（傍点筆者）

賢治というと、「周りの人々のためにつくして生きた素晴らしい人」という、生まれながらにきれいな心しか持っていなかったように受け取っている人も多いようですが、常にこういった自己の暗さを見つめながら、それと戦い続ける所に賢治の行動があつたということも、忘れてはならないと思われまふ。

賢治にとって唯一の心からの理解者であつたトシの存在は、賢治自身、自己の分身のようにも感じていたようです。たとえば、暗い部屋を出、春の日差しが溢れる外に散歩する時、周りの風景がことさらやさしく、暖かく、美しく感じるように、自己の青ぐら修羅を見つめる時、トシのやさしいたわりに、聖なるものを感じたとも言えまふ。特に、トシの死に際して、修羅としての自己と、聖性としてのトシは別れて行きます。「永訣の朝」は、トシの死の翌日書かれたが、その間にもトシの言葉は、賢治の中で、どんどん昇華され、聖なるものの言葉として賢治の心に響いたことでしょう。（賢治の描いた菩薩像に、どこかトシの面影があるというのも興味深い所です。）

同志社グリークラブ第62代指揮者／福田 研二



1971年京都府生まれ。幼少の頃よりピアノに親しみ、高校時代には友人からの勧めを受けて合唱部に入部。その後同志社大学入学と同時にグリークラブに入部。今年一月には第62代学生指揮者に選出され、二月のフェアウェルコンサートにおいて「メンデルスゾーン男声合唱曲集」を指揮して、鮮やかに指揮者デビューを飾る。

その小さな体から沸き起こる合唱への情熱は同グリの源であり、「フクチャン」の愛称で親しまれる人柄と愛くるしい笑顔（エヘヘ）は部員にとっての心の安らぎとなっている。今年の東西四連前にいきなり坊主頭にして部員一同を大いに驚かせたが、その原因は今もって神秘的ヴェールに包まれたままであるが、酒グセの悪さは衆知の事実であり、所かまわず抱きつく癖は今なお健在である。

今宵、彼の指揮する「永訣の朝」は、彼が高校の時より温めてきた曲である。その熱い思いで、聴衆の皆さんと感動を共有できることでしょう。乞うご期待！！

永訣の朝

けふのうちに

とほくへいつてしまふわたくしのいもうとよ
みぞれがふつておもてはへんにあかるいのだ

註1（あめゆじゅとてちてけんじや）

うすあかくいつそう陰惨な雲から

みぞれはびちよびちよふつてくる

（あめゆじゅとてちてけんじや）

青い蕁菜（しんさい）のもやうのついた

これらふたつのかけた陶碗（ちやうわん）に

おまへがたべるあめゆきをとりうとして

わたくしはまがつたてつぼうだまのやうに

このくらいみぞれのなかに飛びだした

（あめゆじゅとてちてけんじや）

蒼鉛（そうえん）いろの暗い雲から

みぞれはびちよびちよ沈んでくる

ああとし子

死ぬといういまごろになって

わたくしをいっしょうあかるくするため

こんなさっぱりした雪のひとわんを

おまへはわたくしにたのんだのだ

ありがたうわたくしのけなげないもつとよ

わたくしもまっすぐにすすんでいくから

（あめゆじゅとてちてけんじや）

はげしいはげしい熱やあへぎのあひだから

おまへはわたくしにたのんだのだ

銀河や太陽 気圏などとよばれたせかいの

そらからおちた雪のさいごのひとわんを……

……ふたきれのみかけせきざいに

みぞれはさびしくたまっている

わたくしはそのうへにあぶなくたち

雪と水とのまっしろな二相系（にそうけい）をたち

すぎとほるつめたい雫（しづく）にみちた

このつややかな松のえだから

わたくしのやさしいもつとよ

さいごのたべものをもらうていかう

わたしたちがいっしょにそだつてきたあひだ

みなれたちやわんのこの藍（あゐ）のもやうにも

もうけふおまへはわかれてしまふ

註2（Ora Ora de shitori egumō）

ほんたうにけふおまへはわかれてしまふ

あああのとざされた病室の

くらしいびやうぶやかやのなかに

やさしくあをじろく燃えてゐる

わたくしのけなげないもつとよ

この雪はどこをえらばうにも

あんまりどこもまっしろなのだ

あんなおそろしいみだれたそらから

このうつくしい雪がきたのだ

註3（うまれでくるたて

こんどはこたにわりやのごとばかりで

くるしまなあよにうまれでくる）

おまへがたべるこのふたわんのゆきに

わたくしはいまころからいのる

どうかこれがと兜卒（とそう）の天の食（じき）に変わって

やがてはおまへとみんなとに

聖（とと）い資糧（しりやう）をもちたうすこととを

わたくしのすべてのさいはひをかけてねがふ

註1 あめゆきとてきてください。

註2 わたしはわたしでひとりいきます。

註3 またひとにうまれてくるときは

こんなにじぶんのことはかりで

くるしまないようになうまれてきます。

祈りの風景

曲目解説

「de profundis」

「デ・プロフンディス」とはラテン語で「深き淵より」の意味をもつ。旧約聖書詩篇130(129)編冒頭の章句である。ジョスカン・デ・プレ、ラッスス、ドランドやバッハ、シュッツなど多くの作曲家がこのテキストをもとに曲をつくっている。

アルヴォ・ペルト(1935～)は旧ソ連のエストニア出身の現代作曲家で5年ほど前からドイツなどで爆発的人気を得た。彼は独自のむしろ中世に近いといえる手法をとりながら、新しい魅力ある音楽を作り続けている。「デ・プロフンディス」は1980年の作曲。オルガン、ホ音に調律された鐘、大太鼓を伴う4声の曲である。音楽は最低音域から静かに始まり常に一定の音価で進行してゆく。各声部が交替しつつ、2声3声と声部を増し、やがて4声となり、長短7和音を中心に精緻な音響を作り出した後、最後に撞かれる鐘の余韻のうちに曲は閉じられる。

本 山 秀 毅

「動物たちのコラール第IV集」

私の“動物たちのコラール”と題された連作は、“光る砂漠”“白い木馬”“深き淵より”“花さまざま”と書きすめられて来たピアノを伴った混声合唱のための作品での試みが完結した今日。合唱本来の形態—ア・カペラにたちもどって、夾雑物のない純正な人間の声のみによるひびきへ追求を目ざしたものである。

訳詩者宮沢邦子女史史のことばにもあるように、ここに登場する愛すべき動物にこと寄せた祈りは、単なるユーモラスな思いつきにとどまるものではなく、アレゴリーの常として、ことばに表すすべない人々の心にひそむひそかな想いが、ある種の感受性に会ったとき、かくれているほかはなかった想いが、一つのひびきとなって鳴りひびくのである。

動物のことばをかりて表された想いは、そのまま人間の心の願いや、生きて行くよろこび、悲しみ…といった想いに重なり合うのである。そして、そこに共感として増幅された想いが、ありふれた日常的な音楽の綴字法によって、ひびきのつらなり書きとめられていったものがこれらの作品なのである。

“動物たちのコラール”の連作は、私の心の片すみにある想いを書きつづった日記帳のようなものであるかも知れない。

萩 原 英 彦

(日本合唱協会第49回定期演奏会作品ノートより)

パーカッション／小 川 真由子



同志社女子大学学芸学部音楽科打楽器専攻
在学中。

島貫利博、上 埜 孝、中谷 満、山口恭範
の諸氏に師事。

マリンバ・アンサンブルグループ「アンサ
ンブル・マレッツ」メンバー。

De Profundis

De profundis clamavi, ad te Domine;
Domine, exaudi vocem meam.
Fiant aures tuae intendentes
In vocem deprecationis meae.

Si iniquitates observaveris, Domine,
Domine, quis sustinebit?
Quia apud te propitiatio est;
Et propter legem tuam sustinui te, Domine.

Sustinuit anima mea in verbo ejus;
Speravit anima mea in Domino.
A custodia matutina usque ad noctem,

Speret Israel in Domino;
Quia apud Dominum misericordia,
Et copiosa apud eum redemptio.
Et ipse redimet israel
Ex omnibus iniquitatibus ejus.

深き淵より

主よ、私は深い淵からあなたに呼ばれる。
主よ、どうか、わが声を聞き、
あなたの耳をわが願いの声に傾けてください。

主よ、あなたがもし、
もろもろの不義に眼をとめられるならば、
主よ、だれが立つことができましょうか。
しかしあなたには、ゆるしがあるので、
人に恐れかしこまれるでしょう。

わたしは主を待ち望みます、わが魂は待ち望みます。
そのみ言葉によって、わたしは望みをいただきます。
わが魂は夜回りが暁を待つにまさり、
夜回りが暁を待つにまさって主を待ち望みます。

イスラエルよ、主によって望みをいだけ。
主には、悲しみがあり、
また豊かなあがないがあるからです。
主はイスラエルを
そのもろもろの不義からあがなわれます。

動物たちのコラール第IV集

1. かめの祈り

神様
どうかちょっとお待ちを。
今 まいります。
わたしのお荷物
背負っていかねばなりません。
別に好きこんで背負ってるわけではないのですが…
いいえ、背中にのったこの家に
不満なわけではありません、
けっこう役にも立つのですから。
けれど主よ、おわかりくださることでしょうが
年中運んで歩くとなると
なかなか重いものなのです。
わたしに与えてくださった
この二重の束縛、
甲らと心の二重の枷ゆえに
あなたに対して心をとがすことがないように
いつも祈りつづけてください。
アーメン

2. 子豚の祈り

主よ
あの連中の上品ぶった様子！
みてるとおかしくなってしまう。
ぼくはといえばブーブーなくだけ！
鼻をならしてブーブーなく。
ブーブーなくのは
ぼくには ほかに
できることってないからなのだ。
でもそれだからって、連中が
ぼくを太らせ
ベーコンにしてくれるのを
よろこぶわけにもいかないでしょ？
神様、どうしてぼくを
こんな柔和な動物につくられたのです？
まったくなんてことでしょう！
主よ
せめてぼくにも「アーメン」くらい
言えるようにしてください。

3. 牡牛の祈り

愛する神様
わたしには時をお与えください。
人間ってものはほんとにいつも
忙しがってばかり—
連中に教えてやってください。
急ぐことのまったく苦手な
わたしみたいなもの
いるってことを。
たべるのも
歩くのも
眠るのも また
考えるのも
わたしには
時間をかけて
ゆっくりやらせて
くださいますように。
アーメン

4. 子馬の祈り

神よ、若草は柔らかに、
わたしのひづめは軽々とその上を駆ける。
その時なせに 心のうちに
恐れが目ざめるのか？
駆けるとき
たてがみは風になびき
駆けるとき
草の香に心は高鳴る。
駆けるとき
わたしの脚はよろこびのうちに
ひたすら急ぐ。
わたしのあまりに大きな目が
わたしの自由をうばいと
世界中のあらゆる不安をとらえてしまうから。
愛する神よ
昼の光が消えてゆき
怪しい夜がしのびよる時
わたしの悲しいいなき
心を動かされたなら
星の光でこの夜を守り
わたしの恐れを
しずめてください。
アーメン

5. みつばちの祈り

主よ、
わたしもあなたのたまものを
おろそかに思ってはおりません。
わたしの勤勉にこたえて
甘美な富を備えてくださるあなたが
祝せられますように。
いたる所にわき出る
あなたの愛の泉から飲み
花から花へととびながら
平和とよろこびの蜜を
集めて生きるわたしです。
このつかの間の燃える生命のを
いっそう大きな協同のわざに
とけこませることが出来ますように。
数知れぬ小さい部屋に分かれた
この蜜の神殿
香りの城砦
あなたの恵みとわたしの隠れた働きで
作り出された聖なるろうそくを
あなたの栄光にとどくまで
高くかかげることが出来ますように。
アーメン

MUSICAL SOUTH PACIFIC

< 南太平洋 >

曲目解説

福永陽一郎

O. Hammerstein 2nd
&
R. Rodgers

《南太平洋》は、そもそも1949年の春に、ニューヨークのブロードウェイ・ウェストのマジスティック劇場で初演され、5年間、2,212回のロング・ランになったミュージカルである。原作は、第2次世界大戦のあいだ、従軍記者として南太平洋の島々を廻り、多くの「手記」を発表したジェームズ・A・ミッチェナーの短編小説集『南太平洋物語』のなかの2編であった。はじめは、まずシリアス・ドラマとして構想され、のちにミュージカルの形式がより相応しいというので路線変更となり、さらに、はじめは〔アメリカの海軍士官と南太平洋のある島の娘との恋愛物語〕がメインの筋書にされるはずだったが、それではあまりにオペラの《蝶々夫人》と似てしまうというので、もう一つのほう、つまり〔島の農園主である初老のフランス人とアメリカ娘の従軍看護婦との恋物語〕のほうをメイン・ストーリーとすることになった。このような紆余曲折ののちに、現在のオスカー・ハマースタイン二世の台本と作詞、リチャード・ロジャースの作曲のミュージカルが完成されたのである。ストーリー一つにしても、よりベターなものを求めて、これだけの試行錯誤と手なおしののちに、ベストと思われるものが決定されるが、こうした“熟慮”という手続きは、当然、ミュージカルのあらゆる要素と部門にわたって繰り返されるわけで、公演の初日の前日、やっと脚本が完成するといった日本の商業演劇とは、だいぶ隔りがある。

脚本と作詞を担当するオスカー・ハマースタイン二世とリチャード・ロジャースの音楽というコンビは、ミュージカル史上、もっとも長く続き、もっとも多くのヒット作品を生み出したチームである。このコンビが生み出した名作ミュージカルには、1943年初演の《オクラホマ》、1945年の《回転木馬》、1947年の《アレグロ》と続き、1949年の《南太平洋》のあとにも、1951年の《王様と私》、1959年の《サウンド・オブ・ミュージック》など、超ロングラン・ヒットが目白押しにならんでいる。

(第38回東京六大学合唱連盟定期演奏会プログラムより転載)

《南太平洋》のあらすじ

南太平洋に浮かぶ美しい小島。ここにも戦争の影はしのびよっていた。ある日、特別任務を帯びて、ケーブル中尉(ジョン・カー)がやってきた。彼は戦前から島に住むフランス人の農場主エミール(ロッサノ・ブラッツィ)に、日本艦隊を監視するための案内役を頼もうというのだった。

だがエミールは、美しい従軍看護婦ネリー(ミッツィ・ゲイナー)を愛しており、彼女も彼に好意を寄せている。危険な任務を承知するはずもなかった。

しかたなくケーブルは休暇をとり、島で兵隊相手の土産売りをしているブラディ・メリー(ファニタ・ホール)の案内で、魅惑の島バリ・ハイの見物に出かける。ここで彼はメリーの娘リアト(フランス・ニューイエン)に紹介され、ひと目で彼女を好きになった。けれども、彼は結婚ということになると、人種的な問題が頭をかすめ、決心がしきれない。メリーはリアトに、彼と会うことを禁じた。

一方エミールの農園では、ネリーが幸せな恋に酔いしれていたが、いつもここにいるふたりの混血児が、原住民の妻とエミールの間に出来た子供であることを知り、深く心を傷つけられ、去ってしまう。

ネリーを失ったエミールは偵察行を承知した。彼とケーブルは、日本軍の背後に回ることに成功したが、ケーブルは戦死。更に、ネリーのもとへは、エミールの行方不明の報も届けられた。この知らせによって、ネリーは自分のエミールへの愛がいかに深いものであったかを知り、ふたりの子供の面倒を見ながら、ひたすら彼の帰りを待つことを決意する。

ある日の夕方、ネリーと子供たちの前に軍用車が止まった。エミールが戻ってきたのだ。南の空に明るい笑い声がこだました。

1. Some Enchanted Evening

Some enchanted evening.
You may see a stranger. Across a crowded room.
And some how you know. You know even then.
That somewhere you'll see her again and again.
Some enchanted evening.
Someone may be laughing. You may hear her laughing.
Across a crowded room.
And Night after night. As strange as it seems.
The sound of her laughter will sing in your dreams.
Who can explain it? Who can tell you why?
Fools give you reasons, wise men never try.
Some enchanted evening. when you find your true love.
when you feel her call you. Across a crowded room.
Then fly to her side. And make her your own.
Or all through your life you may dream all alone.
Once you have found her, Never let her go.

2. There is nothing like a dame

We got sunlight on the sand. We got moonlight on the sea.
We got mangoes and bananas you can pick right off the tree.
We got volley - ball and ping - pong and a lot of dandy games!
What ain't we got? We ain't got dames!
We get packages from home. We get movies, we get shows.
We get speeches from our skipper and advice from Tokyo Rose.
We get letters doused with perfume, We get dizzy from the smell.
What don't we get You know darn well.
We got nothing to put on a clean white suit for!
We got nothing to look masculine and cute for!
※ (There is nothing like a dame. Nothing in the world.
(There is nothing you can name that is anything like a dame.
We feel lonely and we long for the fair and gentle sex.
We would like to feel the feeling of some arms around our necks.
We feel hungry as the wolf - felt when he met red riding hood.
What don't we feel? we don't feel good!
Lot's of things in life are beautiful, but brother.
There is one particular thing that is nothing whatsoever in any way shape or form like any other.
※ くりかえし
There are no books like a dame.
And nothing looks like a dame.
There are no drinks like a dame.
Nothing thinks like a dame.
Nothing acts like a dame. Or attracts like a dame.
There ain't a thing that's wrong with any man here.
That can't be cured by puttin him near. A girly, womanly, female, feminine dame!

3. "dites - moi"

Dites - moi pourquoi la vie est belle.
Dites - moi pourquoi la vie est gaie?
Dites - moi pourquoi chere mad' moisell.
Est - ce que par - ce que vous m' ai - mez?

4. Happy Talk

※ (Happy talk, keep talking happy talk.
Talk about things you'd like to do.
You got to have a dream. If you don't have a dream.
How you gonna have a dream come true?
Talk about a moon. Floating in the sky.
Looking like a lily on a lake.
Talk about a bird. Learning how to fly.
Making all the music he can make.
※ くりかえし
Talk about a star. Looking like a toy.
Peeking through the branches of a tree.
Talk about a girl. Talk about a boy.
Counting all the ripples on the sea.
※ くりかえし
Talk about a boy. Saying to de girl.
Golly, baby, I'm a lucky cuss.
Talk about a girl. Saying to the boy.
You and I are lucky to be us.
※ くりかえし
If you don't talk happy, And you never have a dream.
Then you'll never have a dream come true.
Keep talking happy talk tonight.

5. Bali - Ha'i

Bari - Hai may call you any night, any day.
In your heart you'll here it call you
"Come away" "Come away"
Bari - Hai will whisper on the wind of the sea.
Here am I, your special island!
Come to me! come to me!
Your own special hopes. Your own special dreams,
Bloom on the hill - side, and shine in the streams.
※ (If you try, you'll find me where the sky meets the sea.
Here am I your special island, come to me!
Bali - Hai Bali - Hai Bali - Hai.
Some day you'll see me. Floating in the sunshine.
My head sticking out from a low flying cloud.
You'll hear me call you. Singing through the sunshine.
Sweet and clear as can be.

"Come to me" "Here I am, come to me".
※ くりかえし

1. 魅惑の宵

ある魅惑の宵に 見知らぬ人に会う
ホールの人ごみの中で なぜかわかる
一目見た時、この人とはまた会うと、また何度も
ある魅惑の宵に だれかが笑う
笑いが響く、さわめきの中から
それから夜ごと 不思議なことに
彼女の笑い声が夢の中に聞こえる
この不思議は誰が解く?
愚人はさえずり、賢人はひたすら沈黙
ある魅惑の宵に 愛する人を見つけたら
彼女の心を感じたら 人ごみを抜け
とんで行き 彼女を我が物に
さもないと一生 一人で夢見て終わる
見つけたら 放してはならない
一度見つけたら 放してはならない

2. 御婦人が一番

砂と海 太陽と月がある
木々は南国の果物が
楽しいゲームにも事欠かない
ただ一つ 女がいらない
国からの小包み 映画にショー
艦長の演説 宣伝放送
優雅的な香水つきの手紙
ただ一つ ないものがある
白の制服でメカす機もない
女に代わるものがほしいのか
女はすてきた この世で最高だ
女ほどイカすものは ほかにはない
愛うたぜ、寂しいよ
生身の男よ、やりきれないぜ
まるで心は飢えたオオカミ
考えると、めいっちゃう
きれいなものは多いさ だがよ
女は特別なんだ その姿、形
ほかには比べようがない
女はすてきた、この世で最高だぜ
女ほどイカすものは ほかにはない
女に似た本もない 女に何にも似てない
女に似た酒もない 女の考えはユニーク
その行動も、その魅力も
ここにいるまともな男にも
女の性癖を直せない
かわいく、か弱く、それが女

3. 私に告げて

なぜか話して 人生の美しいわけ
なぜか話して 人生の楽しいわけ
なぜか言って お嬢さん
そのわけは そう 恋の仕業

4. ハッピートーク

楽しい話をし やりたい話を話して
夢を話して 夢がなければ
かなう夢もかなわない
月の話もいい 空に浮かび
湖の面に映く月 鳥の話もいい
羽ばたき 声高く歌う鳥
星の話をして 小さく
木々の間にのぞく星
男と女の話をし
波のひだを数える2人
男がいて 女に言う 僕はとても幸せだ!
女がいて 男に言う
私たちは幸せよ 2人ですもの
楽しい話と夢がなければ
夢は決してかなえられない

5. バリ・ハイ

バリハイはあなたを呼ぶ 夜も昼も
あなたの心と呼びかける
島においでと
バリハイはささやく 海風に乘せて
私はあなただけの島 さあ、私のもとへ
あなただけの希望 あなただけの夢
丘には花が咲き 流れはきらめく
探せばきっと見つかる
空と海の出会うところに
私はあなただけの島
さあ 私のもとへ
あなたが見る私は陽光に浮かび
頭を雲の上に出している
私の呼び声はきらめく、光の中を
甘やかに澄んで響く
私はここよ、さあいらっしゃい
探せばきっと見つかる
空と海の出会うところ
私はあなただけの島
さあ 私のもとへ
バリハイの島へ

革命詩人による「十の詩曲」より

六つの男声合唱曲

曲目解説

福永陽一郎



《ショスタコーヴィチ「十の詩曲」による六つの男声合唱曲》という組曲は見ての通り、ショスタコーヴィチの無伴奏混声合唱組曲のなかから、同類の楽想やパターンの曲の重複を避けて、曲数を六つに制限し、できるだけ、全体の曲の流れを阻害するものがないように、全体のバランスを考慮しながら、無伴奏男性合唱組曲に編成しなおしたものである。

ここでは原曲の《ショスタコーヴィチの「十の詩曲」》について論評するいとまは無い。とにかく、スターリン時代のソヴィエトにおいて、作曲家の自由行動を束縛した、いわゆる「批判」に逆らわない線に乗って、オラトリオ《森の歌》ほどではないが、直接・間接に限らず、「権力」からの「批判」をかわした「民衆の理解」を第一義においた作風が一貫している。はっきりした調性や一度聴いたら直ぐにでも親しみをおぼえるような魅力的な旋律。聴衆を飽きさせない構想。など、通俗になり兼ねない表面を保ちながら、なお、作曲者の優れた資質や高い芸術性を維持した、あえていえば名作である。

二十世紀音楽に普通である複雑多岐にわたる混雑や混乱はいっさい無く、転調や拍子の変化は、ごく自然にスムーズに移行し、一見、平易の合唱曲でありながら、曲から受ける感情の高まりや熱気は、聴くものをストレートに感動に導いてゆく。

原作に用いられた「詩」は、1883年ごろに始まったロシアの労働者階級の革命活動に題材を採り、1905年の第一次革命と同時代の民衆の詩人の数人の作から選ばれたものである。いわゆる大芸術家の作品ほど格調の高さは維持していないとしても、直接的な感情表現と、リアルに描かれた革命者の実態は、理屈無しに、読者の共感を強く引き出すものがある。

《ショスタコーヴィチの「十の詩曲」による六つの男声合唱曲》に用いられた「詩」は、原作そのままの「訳詩」ではない。百年前のロシアに起こったソヴィエト革命は、そのまま、現在の日本の民衆・大衆の感情に関係するものではなく、客観的な立場に身を置いて解釈しても、直接の共感や感動を生み出すものではない。

《ショスタコーヴィチの「十の詩曲」による六つの男声合唱曲》の作詞者である安田二郎は、「パリ革命やソヴィエト革命が、歴史の遠くにへだたる昔話になってしまった今日、地球上の人間社会は、至るところで、今もなお“革命”が達成されなければならない状況を処理してしまうことが出来ないままである。内面的・精神的な問題として捉えれば、我々自身の問題としても、なお、“革命”を必要とする状況は、今後も合わせて、消滅を期待できる体制にはない。“We are the World”の歌が国境を超えて広く愛唱されたり、アムネスティ活動が全世界に跨がって熱心に為されたりするのは、人間が、いまの人間社会に、ヒューマンイズムが達成されていないことを自覚している証拠である。

《六つの男声合唱曲》のための新しい「作詩」は、原作の詩から、イメージとヒントを得ながら、かなり自由に換骨奪胎することで、ヒューマンイズム達成の戦いのための感情をうたい上げたものである。」と言っている。

《ショスタコーヴィチの「十の詩曲」による六つの男声合唱曲》は、無伴奏混声合唱曲を、おなじ無伴奏男声合唱曲に移したために、必然的におこった技術的な困難さを、多く抱えている。混声合唱の音域を可能な限度まで拡張しなければならぬことに通じる。各パート、特に高声域を担当するパートには、声帯＝楽器を破壊しかねないほどの無理を強いることになる。

(第36回早稲田大学グリークラブ定期演奏会プログラムより転載)

1. 雄々しく進もう

雄々しく進もう 力を合わせて
吹き荒れる嵐に 負けずに立ち向かえよ
目指すは夜明けぞ 希望あふれる朝
陽の光 満ちて 黒雲 消えゆきぬ
今こそ目を覚ませ 晴れわたる空に
旗はひるがえり 祖国に春が来る

2. 果てなき荒野

自由の夢ははるかに 若き生命はかなく
希望に燃えた過ぎし日の
熱くたぎる生命を
踏みにじるこの寒さよ

冷たき夜の静寂に 胸の底 凍えて
悲しき仮寝の夢は 果てなき荒野彷徨い
恐怖におののく時
果てしなき彼方差して 祈りの声きこえ

されど
牢屋は閉ざされ 暗き運命 終りなく
捕らわれし我等
若き生命 はかなく消え去りぬ

希望も夢も消え去りし我等
暗い月日よ

されど 正義の炎 赤く燃えて
裁きの日は近づく
その赤く燃える正義の火よ
今こそ照らせ

自由の夢ははるかに 若き生命はかなく
希望に燃えた過ぎし日の
熱くたぎる生命を
踏みにじるこの寒さよ

3. 死刑の戦死

牢屋は暗く沈み
死を待つ二人の若者

我等 同じ運命に捕らえられて
胸に忘れず刻む
闇 暗く迫りて
つぶやく声ひくく 牢屋に流れゆく

4. 怒りの日

血潮は沸きて 怒りはたぎる
新たな犠牲ここに
死せるもの 黙して眠る
沸きあがる 激しい心こめた声
貧しい民のひくい声
つぶやく祈り 心こめて
しいたげられし人々は
空の彼方を仰ぎ見る

死にゆきし者に栄光あれ
血ぬられた者に平安を
聞かずや人よ しいたげられし民の声を
絶え間なく続く戦闘に
逃げるすべもなく駆け立てられ
苦しみ今は果てもなし
真昼も暗い死せる世界
若者の生命 幼な児の生命 守り抜け
逃げるすべなき戦闘に

誰のためにするこの戦か
希望を与えよ 我が友よ 教えておくれ
逃げるすべなき この戦よ
応答はなくて 静寂を破る足音
あがる銃声 耳を裂き
撃ち出す砲丸は雨と降り
野原に屍 うず高く

おお このうめきを忘れるな
死にゆく者の怒りもて 敵をたおさん
血潮は沸きて 怒りはたぎる
むごき銃声 まだ続く
血潮は沸きて 怒りはたぎる

血潮は流れ 黒く
油と泥にまじりゆき
世界の息子 娘たち
よみがえらせるすべもなし
血潮は沸きて 怒りはたぎる

5. 鎮魂歌

陽は落ち 銃声も はや絶えぬ
流れし血の色も
なお残る兵士の浅き夢

倒れし屍に
悲しみのうめきをもらしつづ
冷たき風吹きて渡りゆく

眠れよ安らかにわが友よ
東方の空 白く明るみぬ
戦い傷付きしわれもまた
新たな戦闘に出で発たん
眠れよ安らかに 友よ

深い霧立ちこめる真夜中に
明日への誓いを固めつつ
東方の空 白く明るみぬ

永遠に忘れじ 汝が誓い
眠れよ

陽は落ち 銃声も はや絶えぬ
流れし血の色も
なお残る兵士の浅き夢

6. 歌

死せる者に 涙もて悲しむを止めよ
強く立ちて進む者 受けてよわが歌
たおれし者 過ぎし日の歌を思い出せ
胸に燃え立つ炎は 怒りを秘めつつ
涙ぬぐい 勇士らの功たたえつつ
双手高く差しのべて 誓いも新たに
死せる友の心 継ぎ 立ち上がれ今ぞ
地上の平和 求めつつ 礎 きづかん
世界の幸福 求めつつ 手に手を取り合い

眼 開き 悲哀の霧の彼方見よ
夜明すでに近づきて
沸きあふれる歌

行け わが歌 飛びゆけ 翼に乗り
行け この歌 翼もて
高く駆けりてゆけ
若き力 たゆみなく
限界なく進め

響け とどろけ 高らかに
遠く地の果てまで
若い世界 栄光あれ
自由の鐘が響く
行け この歌 翼もて
戦闘 突き抜けて
あらゆるものの生命を 燃え立たせるため

山の彼方まで 海を越えて
行け わが歌 飛びゆけ
明るい陽よ 春の日よ
希望 満ちあふれ

重き運命 払われて 暗闇 去りゆき
大地深く 息づける 希望の生命 見よ

聞け とどろく海鳴りを どよもす雷鳴
生命に目覚めし春に 沸き上がる歌よ
さやかに朝風は吹き よみがえる大地
小川の水は碧みて せせらぎはうたう

花咲く春の朝に 大空 見上げて
われらが声の限りに歌う自由の歌
われらの歌声よ 響きわたれ いざ！



客演指揮者 / 本山 秀毅

京都市立芸術大学声楽学部声楽専修卒業。西ドイツ国立フランクフルト音楽大学合唱指揮科に留学。1987年同大学を卒業。帰国後はバッハを主とする宗教音楽を中心に演奏活動を続ける。1988年仙台で開催された「日本バッハアカデミー」ではヘルムート・リリンクのアシスタントをつとめる。関西では解説を伴ったカンタータの演奏会「ゲシュプレヘスコンツェルト」を定期的に行い、教会音楽の多角的な理解を目指している。これまでに「口短調ミサ」「ヨハネ受難曲」「クリスマスオラトリオ」はじめ数多くのバッハの作品を演奏する。

1991年秋にはクリストファー・ホグウッドの演奏会の合唱指揮をつとめる。また各地で合唱指導法の講師としてその普及にも努めている。

指揮をヘルムート・リリンク、ヴォルフガング・シェーファー、ウーベ・グロノスタイの各氏に師事。声楽を蔵田裕行、中村利男、佐々木成子の各氏に師事。

現在、同志社女子大学、大阪音楽大学、同志社大学神学部講師。京都バッハ合唱団主宰。

第89回定期演奏会に寄せて

わたしたち、人間を取り巻く世界には、様々な「祈り」がある。宗教で語られるところの「祈り」はもちろんのこと、人が人として存在するための原初的な希求や、あるいは「祈り」というには余りにも素朴な感情、あるいは高邁な精神性に裏打ちされた「祈り」まで。それらは音楽に恰好の素材を提供し続けてきた、というよりも音世界そのものが「祈り」を表現しようとしているというべきかもしれない。

原始キリスト教の時代に礼拝を続けていたひとたちは、今のように説教を聞き、聖書を読むということよりも、ひたすら賛美の歌を歌ったといわれている。「歌う」ことが「祈り」の具現であった。旧約聖書には「詩編」という素晴らしく音楽的な部分があるが、これらはもともと節をもって歌われていたものなのであろう。それが古今の作曲家によって旋律を伴って新しい生命を吹き込まれているのである。作曲家たちが食指を動かされるのも、そこに無限の可能性をもった「音」の世界と「祈り」を感じるからではないかと思う。

今日のプログラムは2曲とも違った形の「祈り」を表現した音楽である。様々な「祈りの風景」を同時に音として表現することによって、それらの底流にある共通のものが浮き上がることを期待している。一見同時に演奏されるのが奇異に見えるような音楽でも、その内容の深い部分での相乗効果が必ず現れると思うのである。この「祈りの風景」の2つの音楽は勿論であるが、第1ステージの「祈り」の感情の余韻をも十分に味わっていただけたらと思う。



客演指揮者 / 佐渡 裕

〈彗星のごとく現われたクラシック界のホープ〉

1961年5月13日、京都に生まれる。

京都市立堀川音楽高校を経て、京都市立芸術大学を卒業する。学生の頃より関西二期会のアシスタントをつとめ、オペラの仕事を中心に、新日本フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等を指揮する。

1987年、タンゲルウッド音楽祭にてフェローシップ・ステューデントを選考するオーディションを受け、一次書類選考で一度は不合格になったものの、同封した一本のビデオが認められて返り咲きに見事成功を果たす。その後レナード・バーンスタイン、小澤征爾、シャルル・デュトワ、ゲンナジー・ロジェストベンスキーらに師事する機会を得る。帰国後新日本フィル定期演奏会で小澤氏のアシスタントを務め、ハイドン・シンフォニー全曲演奏会シリーズで東京デビューを果たす。

1988年、フェローシップとしてシュレスビヒ・ホルシュタイン音楽祭（西ドイツ）に参加し、ダビッド特別賞を受賞、その後引き続きバーンスタインとともにドイツ、ソ連でのツアーを行った。

1989年、スロヴァキア・フィルとモーツァルトの交響曲第25番、バーンスタインの「ファンシー・フリー」等のプログラムで共演する。同夏「ケルンテンの夏」音楽祭に出演した。9月、新進指揮者の登竜門として権威ある「第39回ブザンソン国際指揮者コンクール」に、小澤征爾と松尾葉子に続き、史上3人目の邦人としてイギリス人指揮者と優勝を分けあい、大きな話題を呼んだ。

1990年京都音楽家クラブより「藤堂賞」、アリオン音楽財団より「指揮者賞」を受賞。1月、FM東京20周年記念「クリスタル・ハーモニー ニューイヤー・コンサート'90」で新日本フィルと共演、正式な日本デビューを飾る。6月、バーンスタインの提唱により開催されたPMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）に於いて同氏と共に指揮台に立ち、横浜アリーナでのロンドン交響楽団とPMFオーケストラの合同演奏では、急病のバーンスタインのピンチヒッターとして指揮を取った。9月、新日本フィルと共にハイドン・シンフォニー全曲演奏会シリーズと2夜にわたる定期演奏会でマーラーの交響曲第6番を振る。12月、急逝した師バーンスタインの追悼演奏会（ニューヨーク、セント・ジョン教会）に出演。ヨーロッパでは、ボルドー管弦楽団、スイスのベルン交響楽団、シュレスビヒ・ホルシュタイン音楽祭室内管弦楽団などのオーケストラとの共演が次々と決定。

1991年9月より正式にフランス国立ボルドー管弦楽団の指揮者を務める。

1992年3月、「出光音楽賞」受賞。7月、PMF1992に再び参加。マイケル・ティルソン・トーマスらと共に、レジデント・コンダクターとして、その大務を果たし、最終日に行われたPMFオーケストラとの共演では観客の大絶賛を浴びた。

1993年、フランスのラ・ムール管弦楽団、トゥールズ国立管弦楽団との共演が、またボルドー管弦楽団のオーケストラとは2回の定期公演が決まっている。（共演イーヴォ・ポゴレリッチ）

日本の音楽界に於いては、今、若手指揮者の中で最も注目される一人であり、その指揮のスケールの大きさは、他に類を見ない。今後の活躍が期待される指揮者である。

第89回定期演奏会に寄せて

同志社グリーククラブのみなさん、おめでとう。

今日皆さんと共にステージに立てること、本当にうれしく思っています。というのも、私は子供のころからコーラスをやっていましたし、また私の事務所の会長さんも学生時代コーラスをやっていました。そして、その関係から、私が留学をする時、経済的な援助をして下さったのが、実はこのグリーククラブのOBの方でした。

僕がコンクールに優勝して日本に帰るまで、一度も会った事もない方でした。彼のおかげで、今時はやらない苦学生を暗く寒いウィーンで過ごすことなくすみました。日本社会では、こういった「援助」の事は、何となく公にしないものかもしれません。しかし、カッコいい先輩ではないですか！ とにかく、彼がいなかったら今の私はありません。本当に人生とは美しいものですね。今日の演奏会も本気でいきますから。よろしく。

ヴォイストレーナー

大久保 昭 男

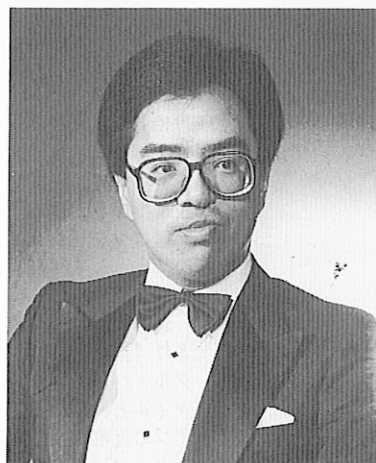
1953年、東京芸術大学音楽科卒業。矢田部勤吉氏に師事された。近衛秀磨指揮、青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビューの後、山田耕筰作曲、本人指揮のオペラ「黒船」、ドヴォルジャークのオペラ「ルサルカ」(初演)などにも出演される。1959年には、ドイツ・リートおよび日本歌曲による第一回リサイタルを開かれた。現在、昭和音楽大学短期大学部教授として教鞭をとられる一方、慶應ワグネル、関西学院グリー、同志社グリー、明治大学グリー、立教大学グリーをはじめとする大学のトップクラスの合唱団のヴォイストレーナーとして、関東、関西で幅広く活躍されている。



ピアノ

オルガン / 長 田 育 忠

同志社大学法学部卒業。器楽・独唱・合唱等の伴奏者として、また宗教音楽のオルガニストとして数々の演奏会に出演。1986年6月、90年1月、91年1月にジョイントリサイタルを開催。ピアノを山下啓子、遠山つや、松野景一、山崎孝、ジョージ・ナードル、H. ビュイグ＝ロジェの諸氏に師事。また歌曲伴奏法をルドルフ・ヤンセン氏に師事。社団法人全日本ピアノ指導者協会正会員。



ピアノ

戎 洋 子

相愛女子大学(現 相愛大学)音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。1977年大阪府民劇場奨励賞受賞。母校の相愛大学の講師として後進の指導にあたるかたわら、オペラ・室内楽・リサイタル等の伴奏者として幅広く活躍している。特に、オペラにおける造詣が深く、関西二期会等のオペラブローベでは名伴奏者として著名であり、その透達なるアンサンブル感覚は他者の及ばぬものがある。現在、相愛大学講師。



第89回演奏会に寄せて

今年もいつの間にか過ぎて、定期がやってきました。今年はすべてがあまりいい年ではなかった中で、グリーだけは堂々と合唱活動を楽しみ、練習もしっかりと積み重ねて、この時期になりました。五月の末には、私のために盛大な三十周年のパーティーを、澤山のOBの方々と現役の皆さんによって開いて戴き本当に有難く思っています。同志社グリーは、昔からもそうだったのですが、あることをするにあたって、全身体で立ち向かっていくそのパワーの偉大さは、今も全く変わりません。歌うための発声法も非常に熱心に勉強してくれて、指導する私も、ひとつの大きな喜びをいつも心に感じます。福永陽一郎先生が天国にゆかれて以後も、素晴らしい先生方を毎年お迎えし、本当に立派な演奏をしてきています事は、お聞き下さっています皆様にもよくお分りの事と思います。どうぞこれからも変わらなく、より以上の魂を胸に抱いて、強く美しく進んでいって下さることを願ってやみません。

第89回演奏会に寄せて

今年の定期演奏会では、ピアノとオルガンの両方を弾くことになりました。同じ鍵盤楽器とは言え全く勝手の違うものを、一晩の演奏会で、しかも続きのステージで弾き分けなければならず、これは結構大変だと今から少なからず緊張しています。「永訣の朝」は、私は今回初めて演奏する機会を得ましたが、混声や女声では既にスタンダードナンバーになっているようで、多くの方からアドヴァイスをいただきました。また学生指揮者の福田君の勉強の熱心さ(音楽に関しては)には本当に頭が下がる思いでした。今宵はグリーメンとともに「研二」が作る憲治の世界を楽しみたいと思っています。これまでの私にとって、いわゆる「現代曲」と呼ばれる音楽は、クラシック音楽のあらゆる年代、様式の中でもっとも遠い存在で、演奏する機会はもちろん聴くこともあまりありませんでしたが、今回アルヴォ・ペルトの作品のいくつかがわかることで、それらが自分にとって感覚的にとても近いものであることを感じました。二分音符と四分音符だけで書かれた「de profundis」の楽譜。ここから、本山先生の棒によってどんな音楽が生み出され、どんな「祈りの風景」が見えてくるのか、グリーメンにとっても私にとってもおそらく新しい体験になることだと思います。今年のプログラムには、すべて二十世紀の、しかも後半に生まれた新しい作品ばかりが並びました。それぞれのステージがグリーメンにとって心に残る演奏になることを願うとともに、今年もまた、同志社グリークラブの皆さんと一緒に素晴らしい音楽体験ができることを心から感謝しています。

第89回演奏会に寄せて

「となりの家の芝生は青い」と言う。私のとなりの大きな庭を持つその家は、長い間、ずっと私の憧れだった。窓から見える家の中は、とても楽しそうだった。そんなとなりの家から、「ちょっと手伝ってよ。」と声がかかったのだ。私が、時々窓越しにのぞいていたのが、わかってたのかも知れない。そんな風に、私とミュージカル「ファニー」は出会った。島田歌穂さんや、宝田明さんや、財津一郎さんが、この住人達だ。二カ月の稽古と38回の公演を、私はこの家で過ごした。驚いたことに彼らは、とても日本語を大切にしている。自分達だけで、美しいメロディーに酔ったりしない。相手に伝わらなければ、なんの意味もないからだ。私の家では、時々、相手のことを考えるのが後まわしになったりする。楽譜を読むのに一生懸命になるからだ。財津さんは、よくおっしゃる。「舞台は、お客様がつくるんですよ。」と。本当に、舞台は生き物の様に、毎回、姿を変えていく。このミュージカルは、私にもう一つの新しい楽しい世界を、教えてくれた。おとなりからいただいた、この芝生、今夜少しでもお見せできればうれしいです。

春合宿 3/13~8 (ハチ北高原・かねいちゃ)

春合宿。「え?知らない」という方に私が「同グリー辞典」で調べて皆様に教えましょう!春合宿(名詞)同グリーの年2回行われる行事の一つ。春夏セットの山ごもり。男の花園。あれ?それだけ?という方に詳しく話しましょう。春合宿とはグリーメン全員が京都から離れこの時期に、スキーの用事でしかないハチ北高原に歌を歌いに行くのです。外では滑ってる滑ってるスキーヤー達が。私はいやグリーメン全員が心の中で「転べ」「リフトから落ちろ」そう叫びながら(?)同関、四連に向けて「チャイコ」と「ミサ」が白銀の世界の中で造り上げられていきました。また毎年恒例各パートふとんで遊ぶのコーナーが行われ、新たにトップでは雪を満喫できる(?)〇〇の洗礼が行われた。これは△△が貰えるという訳のわからんものでTOPではうれしい(?)悲鳴をあげながら男たちの熱いバトルがくりひろげられました。私はBassで良かった! <Bass. II H>



新歓・オリエンテーション 4/2 ~7

一見、体育会系を思わせるような紺ブレ姿の面々が、新入生を狙う。まだ大学になじめず、どのクラブに入ろうか悩んでいる新入生、そこに紺ブレは現れる。新入生が一人、紺ブレに捕まった。瞬く間にどこからともなく他の紺ブレが集まってきた。長いガイダンスに疲れ正常な判断力を失っている新入生は紺ブレの巣につれていかれる。そこは、紺ブレの歌声の鳴り響く練習場である。何曲か歌い終わると紺ブレたちは「入れコール」を唱えはじめる。これでは新入生もなかなか、いやとは言えず「入部します」と言ってしまう。そこでオチない人は夕食会といって王将につれていかれる。ここまでくればもう紺ブレたちの勝ちである。この雰囲気には勝てる強者はそういない。こうして紺ブレに新たな仲間が加わる。これが毎日続く。さすがの紺ブレも油っこいものを毎日食べるのはつらいのか、最終日は、あっさりしたものを食べに三条に繰り出す。三条での夕食会が終わると、河原に行き、仲間を増やした喜びで歌を歌い、こうして新歓は終わる。このような勧誘でも、今年は優秀な人が入部してくれた。もちろん、自ら入部したいと言ってきた奇特な方もいるということをつけ加えておきたい。(さあ帰って、ガンダムでも見ようかな。来年、コメントを書く人に期待しつつ、さようなら) <Sec. II 平谷>



対面式・新歓コンパ 4/24

我が団には、緊張と緩和・天国と地獄が常に同居している。4月24日、入団したてのフレッシュ31名はこれを初めて実感しただろう。・天国=対面式=神学館に集まった彼らの顔には今後の不安・希望又は緊張などが浮かんでいた。彼らにとっては全てが新鮮で驚きだっただろう。入場の時のHeiligやクラブソング、渋谷先生のスピーチなど。しかし、我々オールドの心は既に新歓コンパに行っていた。・地獄=新歓コンパ=今年もトー食堂が修羅場と化した。今年はオールドが早くから動き、例年になくハードな内容となった。ビール瓶を持って情け容赦なく襲いかかるオールド、拒絶し続けるフレッシュそしてトイレや部屋のあちこちに転がるフレッシュの死体といった地獄絵巻が展開された。なにはともあれ、この日体験したことをいつまでも心に刻みつけて、神学館やトー食堂で述べた決意を忘れずに、4年間でがんばって欲しい!と私は1人物思いに耽るのであった。 <TOP. III 川島>



京都合唱祭 6/6 (京都会館)

「大、大、大、大〜」そう叫びながらプレザー姿の若者4人が突然、脚を振りあげて、京都会館第一ホールの客席を走り抜けていったのです。(外政H氏) 毎年恒例の仮装大会で他の団とは対照的な芸を披露し、場内を沸かせた我々でありましたが、関西ローカルなネタだったため、中部、東海出身者が多い部内での評価は低く、ほぞをかむ思いでいました。さて、本題の演奏の方では「Beati Mortui」「Set Down Servant」の2曲を演奏し、その静と動の世界で聴衆を、さすが同グリーとうならせたのでありました。演奏後おこなわれたバーコン、鴨川渡りでは、立命館大学メンネルコールの乱入などもあって多に盛り上がり(?)、四条大橋の下での熱唱は祇園界わいにまで響きわたったとのこと。こうして京都のみなさんにこれでもかという程、我が団をアピールした1日を終えたのでした。 <べいす. II やまだ>



第14回同関交歓演奏会 6/18 (フェスティバルホール)

同関一それは文字通り、宿敵関学との一騎打ちである。交歓などといった生やさしいものではない。互いのプライドを賭けた闘いである。心のどこかでは、合唱で勝敗を競うようなことは馬鹿げていると誰もが思っているけれど、やはり、どうしてもこの演奏会にかけける部員の目つきは他とは違っている。この演奏会で、我々は黒岩英臣先生による「チャイコフスキー」に加え、学指揮によるピクトリアのミサ曲を演奏した。敵を威嚇するにはあまりに可愛い過ぎた学指揮福田研二の頭は、皆の記憶に新しいことだろう。このミサ曲は九月のアメリカ演奏旅行でも歌う予定の曲というところもあって、我々は早くも遙か遠いアメリカの、荘厳なる教会に想いを馳せながら思う存分ハモラしくったのであった。が、しかし!!正しく自己批判するならば、この演奏会全体について、何かやり残してしまったところもあったような気がする。その思いが一週間後の四連へ向けての新たな原動力となったことは言うまでもない。 <Bari. II 上野大介>





第42回東西四大学合唱演奏会 6/26 (昭和女子大学人見記念講堂)

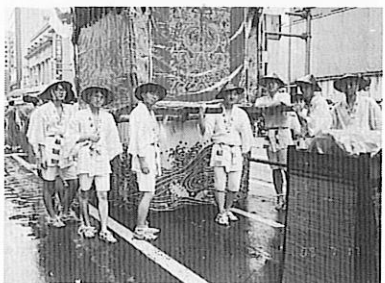
四連。この演奏会は早慶同関のグリーンメンにとってはとても重大なことである。今年の同志社は「チャイコフスキー歌曲集」わが Secパートは、この歌曲にぴったりはまったリーダー「チャイコン條」氏のもとで「カマサズ」を合い言葉にステージに挑んだ。同関ではもひとつカマセなかったが、四連では、他の三大学からどんなすごい人なん？とパンフで絶大な注目をあびたエースカシケイ氏の復活もあり、Secパートが奮起。同志社は見事にカマしたのであった。その後、この感動に酔いしれる間もなく、わがリーダーはさらにカマするため「十の詩曲」に専念。その結果とうとう夏合宿中、歌っている時にショスタコーピッチと対面し、この時からリーダーは「ショスタコN條」と改名。定演に向けて味がありカマせるSecの育成に全勢力を注ぎこむのであった。さて四連・六連とBravoがなかった同志社。ぜひとも定演ではリーダーのチーフのK林さんのBravoをと願うSecの面々であった。なんのこっちゃ。

<Sec. III ホイリゲ>

祇園祭 7/17

日本の夏を彩る京都の祇園祭。その山鉾巡行に、私達同志社グリーンクラブも、毎年、太子山の曳き手として参加させていただいてます。今年の山鉾巡行は朝のうちは、小雨もパラつくあいにくの天気となりましたが、出発前景気づけに「斎太郎節」「最上川舟歌」を太子山のある町内の方に披露するとその中の一人が寄って来て、毎年この歌が聞けるのが楽しみなのだという声をかけて下さりました。そうして気分も盛り上がりてきたところでいよいよ私達も太子山を曳き、他の山や鉾と一緒に多くの見物人であふれる京都の町中を練り歩くのです。天気も次第に良くなり、日頃の運動不足も感じることなく約二時間の道のりを無事に終えることができました。が履き慣れないわらじのお陰で足の皮はめくれるし、次の日にはやっぱり筋肉痛になるし、運動の大切さを思い知った祇園祭でした。

<Sec. II 園田>



夏期演奏旅行 7/23~29 (函館・風間浦・むつ)

我々同志社グリーンクラブ一同は7月23日より29日まで函館市、風間浦村、むつ市と演奏旅行を行いました。この演奏旅行は、今年入部した一回生のデビューステージでもあり、また今年は、同志社創立者新島先生の生誕150周年ということで、函館の脱国の碑や、風間浦村の寄港の碑前でのセレモニーも行うという。大変意義深い演奏旅行となりました。函館、青森といえば何といっても海の幸の豊富な所です。実際に現地では、主催者の皆様の御心使いで毎夜のグルメ攻撃。パケツ一杯のイカ刺しに部員一同涙を流しておりました。肝心の演奏会の方は、Top 3回Mの前代未聞のSailingのソロなど色々とハプニングがありましたが、3回とも素晴らしい演奏会になりました。特に風間浦村では中学生に合唱指導を行うなど交流を深めることができました。いやーしかし一週間は長い！みためとはちがい、超小心者の私は、極度のマネミス病におちいり、5kgの減量に成功(?)したのであった。あーでも本当に成功してよかった。

<Bari. III 吉武>



夏合宿 9/2~7 (志賀高原・ホリデープラザ志賀高原)

自然豊かな長野県の山奥で夏合宿は行われた。世間から遠く離れ朝から晩まで歌い続けるなかでの楽しみは食事と睡眠のみだ。今年の練習は勇ましい「十の詩曲」を中心にし、みんな燃え、充実したものであった。合宿の中盤ごろから雰囲気は変わる。無言のプレッシャーが全員を覆い、みんな緊張を強いられてしまう。そして最後の練習が終わった瞬間、例のものが始まる。このような時代遅れの無意味なことがいつまで続くのかわからない。合宿の締めくくりは2回生による演芸大会だ。今年の評判はまずまずで、そのショッキングなオープニングは悪夢のようであった。

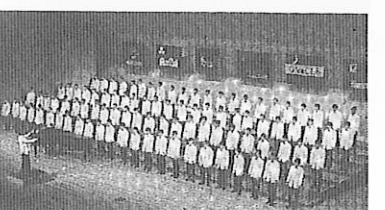
<Bari. III UTO>



第20回関西六大学合唱演奏会 11/3 (フェスティバルホール)

「おっ、お客さんようけ入っとる！結構結構、結構毛だらけ猫灰だらけ、フェスティバルは人だらけ！さすがに同グリーが第一ステージだけあるで、溢れんばかりや。いやあ今までようがんばってきた。『永訣の朝』、かなり感情で歌わなあかん曲やったし、大変やった。それにしても指揮者の福田さん、今までワシら八十五人の為にむっちゃがんばってはったわ、ほんまごっつい人や。そんで長田先生のピアノもめっちゃええし、言うことないでえ。なんで同グリーはこんなごっつい人がようけおるんかなあ？そやそや、合同の「タンホイザー」も忘れとったらいかん。なんせ天下の佐々木先生の棒や。なんちゅうても二十回記念の最終ステージで、さらにオーケストラまで付くんやから否が応でも気持ちいい入で！あっ、もうすぐ幕上がりそうや、そろそろ舞台上がろ。」

<Top. II たんぽいざー>



合コン・合ハイ

定演ご来場のみなさん、こんばんは。私は、一回生の藤井と申します。このあいだノートルダム女子大学とのコンパに行ってきました。そして、なぜかそのコンパの感想を書くことになってしまいました。なぜかとは申しましたが理由は分かっています。このコンパの責任者である京都外政の先輩が、僕が若干酒に酔いほんのちょっとだけ、気持ちが大きくなっている頃を見計らって、この原稿を依頼し、断れない性格の私が安易にも引き受けてしまったのです。おまけに昨日はエンブレム代を稼ごうとやったこともないのに菊花賞に行き、痛い目にあっていところなのです。なんだか文句ばかり言っていますが、コンパはとても楽しかったと思います。たぶんダム女の人たちも、楽しんでくれたでしょう。ひょっとしたら、外政の先輩を差し置いてどんどんしきっていく一回生に圧倒されたかもしれません、僕もいつも圧倒されるくらいなのでまあいいでしょう。とにかく、コンパのパワーが演奏会でも出せると思うので期待して下さい。

<Top. II けんたろう>



オーディション

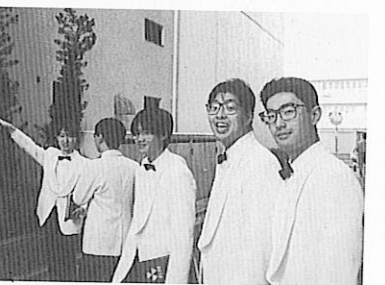
演奏会が近付くと、こいつがまたやってくるのだという気分が、部員を支配する。こいつの前では、鬼さへ裸足で逃げ出すのだ。演奏会前の貴重な土日にも必ずといっていい程出だし、部員達は恐怖と緊張のどん底につきおとされる。当日、こいつを支配するのは、10人の技術系とよばれる面々である。部員達は全力でもって、彼らと戦うが、必ずといっていい程やぶれさる。技術系は部員が戦い終わると同時に追い打ちをかける。もし戦いの日が日曜日の朝などに当たったならば、覚悟を決めた方がよい。彼らの顔には精気はなく、眠りをさまたげるその独特の不機嫌さが伺われる。最初にいけにえが供される。もしいけにえがまずければ彼らの不機嫌さは最高潮を極め、次のカルテットは彼らの頭に角がはえているのを見る事になる。正に一死して死むろつ者なしである。ここでこれまでの過酷な戦いをくぐりぬけてきた猛者の貴重な話を紹介しておこう。「俺が二回生の時はな、前日は寝れへんかったぞ。」(意味不明)

<Top. K>



お座敷

私達は、演奏会活動のほかには外部からの出演依頼によって、結婚式や記念式典、中学校の音楽鑑賞会などに出演しています。これらを総称してお座敷と呼んでいます。このお座敷、普段の演奏会と違って、私達のことをよく知らない人達の前で歌うこと。各パート4~5人くらいの少人数で出演することが多いこと。そして、出演料を頂いての演奏ということもあって独特の緊張感があります。また団の運営を支える大事な収入源でもあります。私達は、民謡、歌謡曲、クラシックと幅広いレパートリーを誇っておりますので、依頼があればお客様のニーズにあわせてどこへでも歌いにまいります。お問い合わせは、同志社グリーンクラブBox 075-251-3185(呼)まで。お電話お待ちしております。



全同志社メサイア演奏会 12/24 (京都会館)

グリーの長かった1年の演奏活動は、管弦楽、女声との共演の唯一の演奏会であるこの「全同志社メサイア」で華麗に締めくくられます。グリーンメン全員は、クリスマスの日にこのような素晴らしい演奏会に出演できることをとても幸せに思い、「今日はメサイア練習だ」となるといつにも増して気合いの入った練習になります。この演奏会も今年で29回目を迎え、近年KBS京都でも放映されるようになり、すっかり京都の年末の恒例行事として定着した感があります。今年は指揮者に金洪才先生をお迎えし、12月24日に京都会館第1ホールで行われます。本日御来場の皆様には、是非メサイアの方にも足を運んでいただきますようお願いいたします。

(Bari. II 千神)



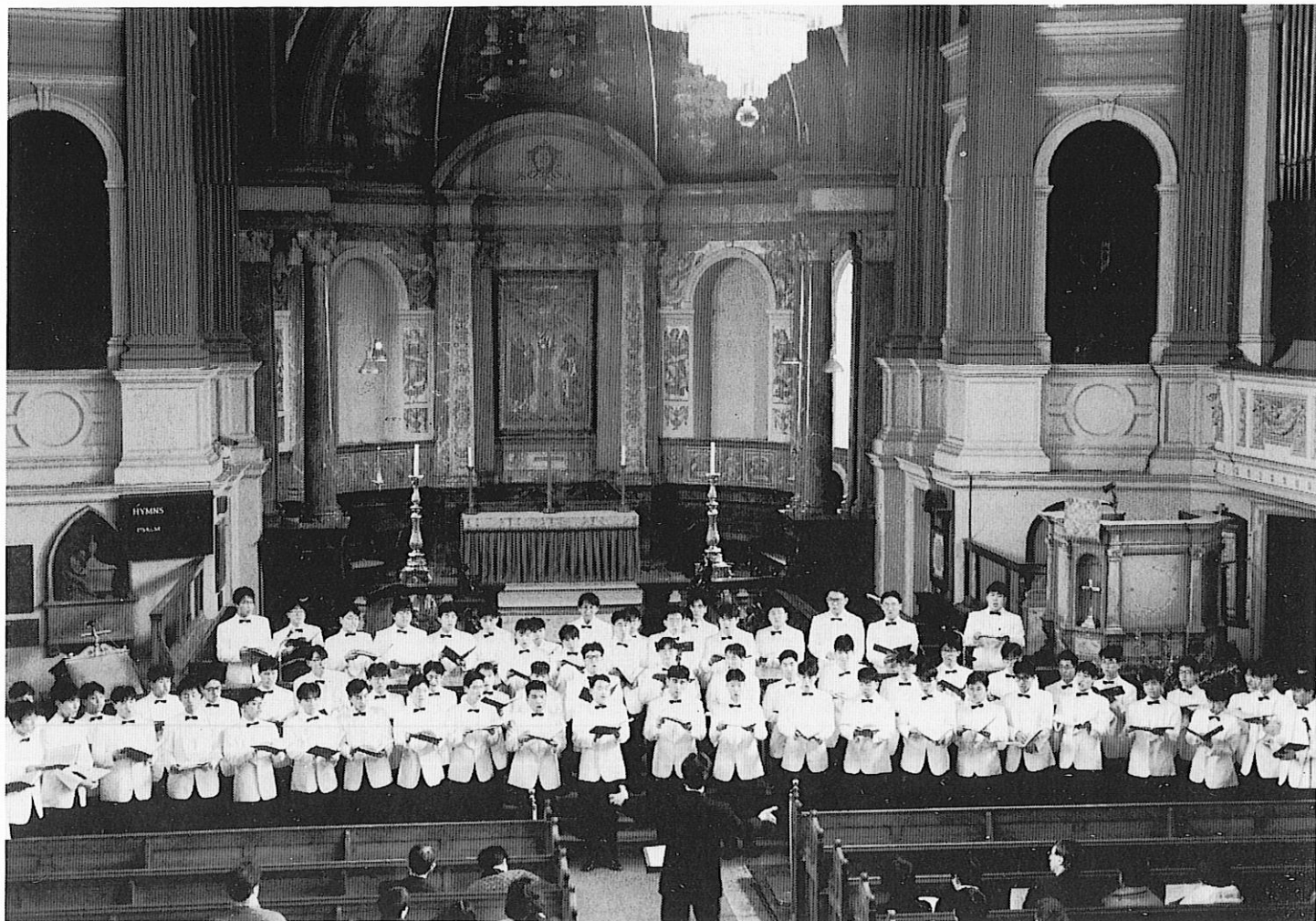
フェアウェルコンサート 2/12 (同志社学生会館ホール)

フェアウェルコンサート一四年間このクラブで歌い続けてきた先輩方の最後の演奏会。苦しかったこと、つらかったこと、しんどかったこと、楽しかったこと、腹が立ったこと、様々な思いを胸にみなさんこのクラブを去って行かれることでしょうか。今年の四回生は、総勢27名という大所帯で回生別の人数でも最も多く、これだけの先輩が一度に抜けてしまうと思うと寂しい限りで筆も思うように進みません。やはりこのコンサート、今までお世話になってきた四回生とこれでサヨナラを告げられるとあって、マジで号泣してしまうという昨年のこのコラムの担当者のような人もいます。そして、これを機に社会へと出て行く人、大学に残り在団中はできなかった勉強に励む人などそれぞれの道を歩まれることと思います。当日は入場無料ですので、みなさんぜひ同志社学館ホールにご来場下さい。

<Sec. III H>



21世紀の海外旅行が変わる！ 目指せ心の国際化！！



21世紀、テーマは国際交流にむかう。さまざまな人が行き交う世界で地球をまるごと友達に。オーケストラ、合唱団の演奏旅行、スポーツの海外遠征など、一味ちがう海外旅行のサポートをいたします。

お問い合わせは

**JTB海外旅行虎ノ門事業部
第三支店 国際交流デスク**

〒105 東京都港区西新橋1-5-13 第8東洋海事ビル4F
旅行業務取扱主任者：鍛冶栄一
担当：大塚謙太郎・林克己

TEL : 03-3504-2441

KIRIN 新鮮な明日へ

うれしービール。
キリン一番搾り。

ビールは、
20歳になってから。



うまいビールを飲んだあとに人は、
カーッととかクッととかフッととかいう。
一日分の疲れやイヤなことが全部出ていってくれるようだ。
おいしいため息をついたあとの顔を見ると
きつと、「うれしい」と書いてある。
ビールをうまそうに飲む人に悪い人はいない、と思った。



キリンビール株式会社

ビールは、20歳になってから。

- 【会員心得】
1. ウイスキー飲んで、スカさない。ヒタらない。カラまない。
 2. ウイスキー飲んで、「あの頃はよかったなあ」とか言わない。
 3. 酔った勢いの約束も、守る。
 4. やな上司とは飲まない。ふざけた部下とも飲まない。
 5. 「あした朝早いから、このへんで」なんて言わない。
 6. 日本の将来とか、国際貢献とか、環境問題とかも、話題にしよう。
 7. よく飲み、よく食べ、よく笑い、よく眠ろう。

本木雅弘
リザーブの会 会長

**リザーブ
の会**
Suntory Reserve



【名称の由来】
たまたま、このたび誕生したウイスキー、
「リザーブ」にちなんでいます。

【基本理念】
たまには、みんなで、うまいもん食って
飲んで、なんか面白いことして、
盛り上がりましょう、という会です。

◎ミズワリカン、いかがассカー。

星の数ほど飲み方のある水割り缶がうれしくて、会長の本木はこれにいちいち名前をつけています。会員の皆様も、こんな水割り缶を大いにお楽しみください。



こりゃ、いけや。



'93秋冬 水割り缶コレクション



決定的瞬間
水割り誕生の瞬間がつかまっている。



ハダカイッカン
風呂あがりによく出てくる。



東京—大阪カン
新幹線で移動する最中に通過しやすい。



ピーカン
天気の良い日は大量に出現する。



こたつミカン
毎冬心も体も暖かくなった頃やってくる。



いやーんバカン
大人達の水イタズラの関係には欠かせない。



気分転カン
ビートのきいた音楽にノック登場する。



大食カン
食事中に出てくるとうれしい。



あきカン (はりサイクルへ。)

250ml
250円

ベリー・スッキリ
缶リザーブ
RESERVE & WATER

製造・販売 ヤマトソー株式会社

飲酒は20歳を過ぎてから。SUNTORY WHISKY RESERVE

VIDEO, RECORDING, DESIGN
株式会社 サウンドスタジオ OKA
〒606 京都市左京区下鴨半木町70
☎(075)712-5710 FAX (075)721-0835



私達スタッフは、皆様とのコミュニケーションを大切に実績ある技術で今宵のコンサートのCD制作を担当しております。

Apple Computer
Authorized Reseller

システム設計・販売・サポート・出力サービス
OKA GRAPHIC CENTER
〒606 京都市左京区下鴨半木町70
☎(075)711-6155 FAX (075)711-6758

「YES」の一言。 玉姫殿に チャペル OPEN

美しい旋律とともに、極上の時が流れるアーバンチャペル。
ふたりの心にいつまでも生きつづく、
愛の記憶とまばゆいばかりの夢語り。
ふたりの「夢語り」にこたえる 玉姫殿のチャペルウェディング。

1993年11月
梅田玉姫殿

1994年1月
守口玉姫殿



梅田... 〒530 大阪市北区鶴野町4-16
TEL (06) 374-3333代

守口... 〒570 守口市浜町1丁目7番11号
TEL (06) 993-3333代

'94.6.26(日)

於：大阪フェスティバルホール

Keio
Kwanseigakuin
Waseda
Doshisha

四東
連西

あなたの胸に
永遠のメッセージを
とどけたい。

第62回関西学院大学グリークラブリサイタル

1994年1月22日(土) 神戸文化ホール大ホール

1994年1月23日(日) フェスティバルホール

お問い合わせ／関西学院グリークラブホール ☎(0798) 52-6471

FOR THE 89TH GRADUATES FINAL.....

Farewell Concert

—同志社GLEEの全てがここに凝縮される—



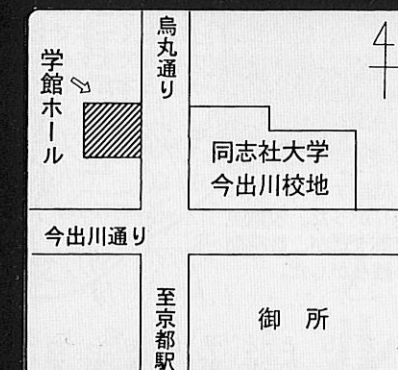
昨年度マスコットキャラクター
休符太郎

'94.2.12(土)

開演 PM 5:00 (予定)

於：大学会館ホール

入場無料!



お問い合わせ／同志社グリークラブBOX ☎075-251-3185 (呼)

神戸女学院大学コーラス部 第34回定期演奏会

- | | | | |
|---|---|------------------------------------|--|
| I. MISSIII.
"ADESTE FIDELES"
作曲/CARLO ROSSINI | II. 女声合唱組曲
「暁と夕の歌」
作曲/木下牧子
作詩/立原道造 | III. 企画ステージ
MUSICAL
「CATS」より | IV. 女声合唱のための
「抒情三章」
作曲/萩原英彦
作詩/三好達治
中原中也
立原道造 |
|---|---|------------------------------------|--|

指揮/植山愉美子・西川智子 伴奏/片桐聖子・銅 桃子

1994年3月3日(木) 開場 PM 5:30 開演 PM 6:00

神戸文化大ホール

〈連絡先〉田村綾子 (06) 492-2000

マツムラは、の専門商社。

株式会社 松村洋紙店

〒600 京都市下京区七条御所ノ内中町51 TEL 075-313-8184(代) FAX 075-314-7283
老ノ坂物流センター
〒621 京都府亀岡市篠町王子市原31番地 TEL 0771-24-2263 FAX 0771-24-2293

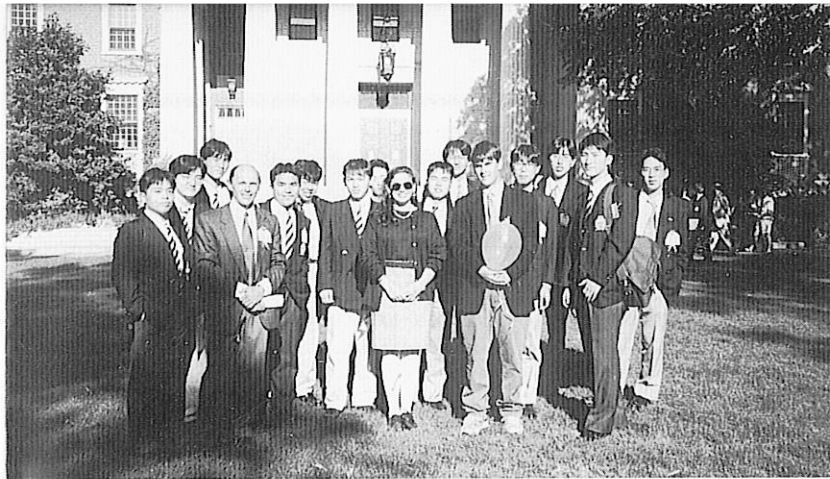


新島襄生誕一五〇年記念 新島メモリアルツアー

アメリカ演奏旅行ではいまだ時差ボケも直らぬまま演奏と移動に追われる毎日だったが、その中で出会った人々に私は音楽がどんなに人を魅きつけるものなのか痛感させられた。

ボストンシンフォニー

S：みなさんこんにちは。私たち同志社グリーは九月中旬から八日間、同志社の創立者新島襄の生誕百五十周年



●高校にしてキャンパスの広さは、想像以上だった。フィリップス・アカデミーにて。

を記念し新島の学んだアメリカの地を訪ね、日米親善を図ることを目的とした新島メモリアルツアーに同行することとなりました。ついては私たちがアメリカで学んだこと、感じたことを少しばかり紹介してみたいと思います。さっそくですが、演奏旅行で一番印象に残っていることは？

M：そうですね、やはりボストンシンフォニーホールのことですね。本拠地としてのボストン交響楽団の音楽監督をされている小沢征爾と同じ舞台に立てたことはもう感激の嵐。何かホールの響きも違っていたんじゃないかな。

Schedule	
9/15	日本出発
9/16	ワシントンD.C・ラットランド
9/17	アーモスト大学訪問
9/18	ニュートン・ボストン
9/19	フィリップスアカデミー訪問
9/20	ボストン（休養日）
9/21	プリマス・ニューヨーク
9/22	帰国

S：それはリハサル中に観客席に座ってらした同GのOBの方も認めてられたことだよ。けれどそれにしてもあの小沢征爾が私たちの演奏会で振ってくれたかもしれないという噂は本当だったのかな。結局時間の都合がつかなくてためだったらしいけど。



●アーモスト大学の礼拝堂にて中央奥は新島襄の肖像画

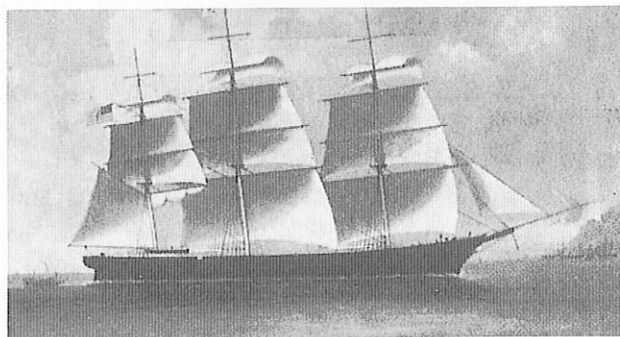
自体でも感動してしまったわ。特にハレルヤコーラスを二回も歌うハプニングがあったんやけど呼応するかのよう

M：さすがに超エリート校！とこ



●カクテルパーティーにて意志の疎通が難しかったが、歌を共に歌って少しずつ交流の輪を作っていた。

- 演奏曲名
- Missa O Magnum Mysterium (Victoria)
 - 日本民謡集
 - 最上川舟唄 そうらん節
 - 音戸の舟唄 おてもやん
 - 愛唱歌集
 - Ride the Chariot 斎太郎節
 - Soon ah will be done 上を向いて歩こう



新島襄が函館から脱出した際に乗船した船 WILD ROVER。船長が新島の熱意に負けて、乗船させたとのこと。この船名は現在、同志社大学体育会 American Football のチーム名にもなっている。



●ボストンシンフォニーホール



●ボストン公園近く。多人数でうろつき写真撮影をしたため、現在居住の一般の方に怪訝そうに窓から覗かれてしまった。ゴメンナサイ。

「私達はロビーで宿泊します…」と遠慮したくなる程の立派なホテル。二階の高級品店でショッピングをした同グリーメンは見掛けられなかった。



●ボストンの中心街にある教会



●新島襄の元下宿先



●ボストン公園近く。多人数でうろつき写真撮影をしたため、現在居住の一般の方に怪訝そうに窓から覗かれてしまった。ゴメンナサイ。

「私達はロビーで宿泊します…」と遠慮したくなる程の立派なホテル。二階の高級品店でショッピングをした同グリーメンは見掛けられなかった。

現地学生との交流

S：さて、話は変わるけど、現地の学生との交流はどうだった？

M：やっぱりフィリップスアカデミーの礼拝後の夕食会で現地の学生と同じテーブルで食事が出来たのがすごく嬉しかったわ。

S：めったに出来ない体験だったね。わざわざの会話で思ったことは彼らが日本に深い関心をよせていたこと。お箸も上手に使っていたよ。

M：俺が感じたのは隣の黒人の女の子が医者になりたいいうて、将来のことをしっかり考えとったなあということかな。

S：そうだったね八時からスタディだからといって自分の寮に帰っていく後ろ姿にはただ茫然と見守っているしかなかったもんなあ。



●アーモスト大学にて

肌を感じる事ができたんやし。S：そうだね、今考えれば演奏旅行初日のグレース教会を訪ねた時にも感じられたんじゃないかなあ。あの教会での演奏会は初回であって、耳の肥えたアメリカ人に僕らの演奏がどう評価されるか少し不安だった気がする。けれど、彼らは演奏後拍手で激励して握手を求めてくれたことは今後の演奏に自信につながったと思う。あの彼らの笑顔は決して忘れられない。

M：初日にしてあのM彦の入場フライング事件も忘れられへんけどな(笑)。

S：ほんと、ほんと(笑)。

まとめ

今回の演奏旅行で一番に痛感したの



●コマーシャル、雑誌の表紙に載られる等、日本でもよく知られるエグロ・マリイさん。ハーバード在学中。

●アーモスト大学カクテルパーティーにて。



は、合唱は大変スケールが大きいということ。合唱は相手を理解するのに時には言葉以上に効力を発揮する。再来年のヨーロッパ演奏旅行でもまたいい経験が出来ることを確信している。最後に、この新島メモリアルツアーに「ご尽力下さった新島コミッティーの方々やアメリカ現地で歓迎して下さい下さった皆様、そして校友会の方々、その他大勢の方には大変お世話になりましたこと深く御礼を申し上げます。思います。本当にありがとうございました(終)。

Memorial Committee	
会長：千 宋室	
顧問：松山 義則	
委員長：木下 利彦	
USA委員：志茂 望信	
堀内 實	
伊藤 恒	
委員：澁谷 昭彦	
土生 邦彦	
栗山 昭男	
大河内護之	
嶋 雅二	
小室 泰司	
矢ヶ崎一之	
(敬称略)	

アメリカ演奏旅行
を使って

Sightseeing!

では、少ない時間
観光も敢行

Washington D.C.

世界的に有名なリンカーン像。米国人にとってアメリカ民主主義の原点とも言えるべきもの。この左側の壁面には「人民の人民による……」の有名な演説が刻まれている。しかし、写真左下の彼のポーズはリンカーン像に対しそのようなものを感じさせる気配は全くと言っていいほどなく、しばし筆者にこの写真を見入らせる。



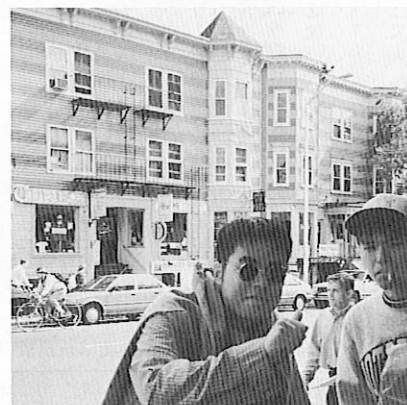
ホワイトハウス前では「ここがホワイトハウスか……」と啞然とするはずだった。しかし、この前にFBIや財務省の立派な建築物を見た後では「へえ……」と言って片付けられてしまう程度になり下がる。この近くには多くの大使館が並立する通りもあってイギリス大使館の前にはあのチャーチル首相がVサインをしている像もある。初日の観光で見るもの



全てが目新しかったが、荷物を盗まれないようにと神経過敏になりすぎて、ホテルに着いたときは皆グッタリとしていた。ジュースの自販機がホテルの中にしかなく、それも炭酸飲料しか売っておらず、飲めども飲めども喉が渇いて仕方がなかった。

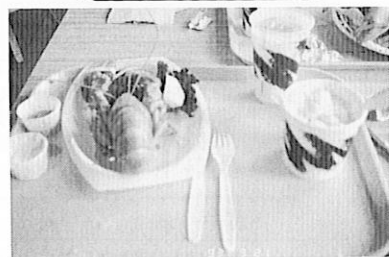
Boston

ボストンでは終日フリーの日が一日だけあった。ボストンは広い。しかし、ハーバードの生協に足を踏み入れたもののいかに多かったか。もし、同Gの者とデートすることがあれば、そのうち大学グッズを着てくるはずだ。その時はつっこんでやってほしい。筆者もハーバード大まで徒歩で行ったが、2時間もかかってしまいへとへとに疲れて地下鉄で帰ることに決めた。しかし

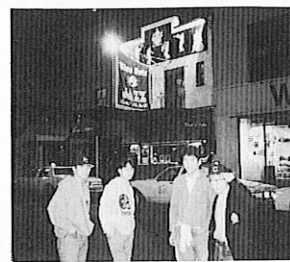


窓口で「One ticket, please.」と言って\$1札を出すとお釣りが返してくれない。連れはそうと知らず皆サッサッと歩いていく。「どうしてや。」動揺は隠しきれない。「日本人をなめやがって！」アメリカの地下鉄は特製のコインを入れて自動改札を通過するものであり、お釣りにまぎれもなくそのコインが。ボストンには3日滞在したため話題にはこと欠かず。詳しくは最寄りのチケフレまで。

Plymouth



これが噂のロブスター。ドリンクを付けても\$10 (\$1≒¥100) かなかった。図にあるフォークとナイフはただの飾り。ほとんど手で食べる状態だった。昼食はハンバーガーかピザかの毎日を送っていたのでみんなの気持ちはひとしおだった。



New York

ニューヨークに着いたのは夜7時。明朝5時にはホテルを出るため、ニューヨークを観光するにはこの夜しかない。さあ困った。しかし、案外皆大胆に外出していった。球場に出掛けてアポット投手を見たり、ジャズを聞きにいったりと、多種多様だった。ホテルの近くにあるロックフェラーセンターの前では口々に「ここが例の映画『ホームアローン2』の……」と呟きながら写真を撮る。ニューヨークにはトヨタ車が目立つ。けれどバットマンが乗るような車もまだまだ健在。アメリカでの最後の時間を惜しむかのようにやりたいこと目一杯に皆やったようであったが、流石に地下鉄に乗った体験談してくれるものは一人としていなかった。



Harvard Glee Club

1993年8月14日(土) 14時開演

京都会館第一ホール

曇っていて雨もチラホラ、世は盆であり帰省ラッシュの続く中、同志社Gメンは早朝に京都会館に集まった。ハーバード・グリークラブが演奏旅行のため来日しており、今日は演奏の地が京都ということで、それなら同志社Gが賛助出演にと参加することになったのである。確かに「なんでもた盆にい〜」という声もあったし、そうそうにない長期休暇の真っ只中での演奏会でもあったので、北は北海道から南は福岡までの帰省先から泣く泣く帰って来た者もいた。しかし、世界に名だたるあのハーバード大学のグリークラブである。交流を見逃すにはあまりにも惜しい。事実、個々人の都合はどうあったにしろ、この演奏会は1カ月後に迫ったアメリカ演奏旅行に思いを馳せる結果となったのだ。

同Gメンが発声練習をし喉をならした後、いざリハーサルをとステージへ移動した時すでに舞台はハーバード・グリーが。ほとんどが短パン姿で、長い足をさらけ出していた。リハーサルは実に楽にやっている。本番に向けての緊張感と間違いのチェックや打合せなどが入念になされる同Gのリハーサルはものすごく体力を消耗する。しかし、彼らの中には手をポケットに突っ込みながら歌う者も見受けられるのだ。そのラフさというものは演奏会本番にも同様でそれでいてスマート、実に伸び伸びと歌っている。エピソードとしてエール交歓でハーバードGの学生指揮者がさしも指揮棒を取り出すかのようにして手に持ったのがナント割り箸。その場でパチンと割ると、その一本でエールを振り出した。その余裕たっぷりの物腰には圧倒される思いだった。

演奏会後のレセプションではささやかな先生方の挨拶も終わると、すぐにピザに飛びついた。「ここでなんとかせな。しゃべるんや。」ピザを喉に通しながら同Gメンは何人が心の中でこう呟いたことだろう。恐る恐る話していたのがそのうちに所々で笑い声が出始め、歌を交歓することも。そういえば『斎藤郎郎』は喜んでくれたなあ。僅かしかないボキャブラリーは却って相手を理解しようと必死にさせるみたいだった。握手をしながらハーバードGはバスに乗り込んだ。雨の中でバスを見送る際には皆盆のことも忘れてもう少し交流を深めたい気持ちに駆られていた。

ONE PURPOSE



ハーバード大学グリークラブ演奏会に賛助出演したわがグリークラブ。結成以来135年と89年。ハーバードには及ばないまでも、わがグリーにも日本屈指の歴史と伝統が息づく。それが海を越えて学生たちを結びつけた。合同練習の時間も少なかったろうに、友情のハーモニーは見事だった。
[同志社大学の雑誌「ONE PURPOSE」より転載]

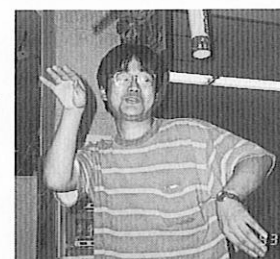
同志社グリーとはここが違う!



頭が高い! 左の方をどなたと心得る。なんと超有名なレナート・バーンスタインであった。ハーバードG出身だった。すごいですね〜。



アメリカ演奏旅行中にハーバード大を訪問。
1ヶ月ぶりの再会にうれしそう。



ハーバードGではリハーサル中に音を間違えるとすぐに拳せねばならないのだ! 要注意…。同Gも試みたが、数人ずっと手を挙げていなければならず、定着せず。なお、写真中の人物はハーバードの人間ではありません。念のため…。

DOSHISHA方式



HARVARD方式



① Top
② Second
③ Baritone
④ Bass

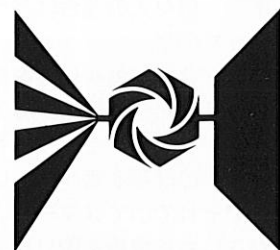
同Gは各自、ハーバードグリーが演奏旅行のために作ったCDをもらった。ハーバード大学の校歌ももちろん収録されている。是非団員に借りてみて下さい。ちなみに同Gからはウチワ(100円相当)をプレゼント。あーひとすぎる。

「後ろの奴の音が違う。」合同演奏で思ったら、単なる間違い。上図のように各パート毎に固っていないだけ。それでいて「I was a baseball player in high school days」とか言う人も結構いた。本当多才でいらっしゃる。

きらめく瞬間を 未来に伝えたい。

好きなことをしている時、
感激で胸がいっぱいになった時、
誰もが、とってもいい顔をしています。

あなたの記念すべきその時を、あなたの素敵にきらめくその瞬間を、私達はのがしません。
未来に残す素敵な記念写真をお届けするために、いつもいっしょうけんめいの
大阪フォトサービスです。



OSAKA PHOTO SERVICE

株式会社 大阪フォトサービス
〒550 大阪市西区江之子島1丁目5-17
TEL. (06) 443-7608 (代表)
FAX. (06) 443-4437

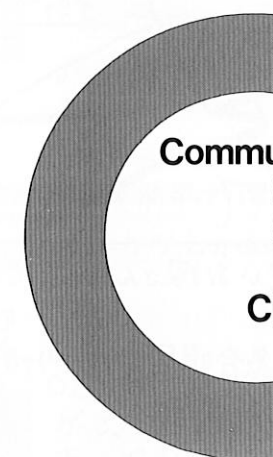
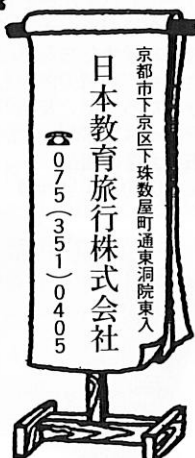
FREE WAY
フリーウェイ

NET

日本教育旅行

☎ 075(351)0405

文化系 体育系 テニス
サークルどんなクラブでも
合宿のことなら
日本教育旅行 に
ど〜ん とお任せ下さいませ。



**SOHRINは5つのCを
大切にします。**

Communication—〔伝達〕
Creation—〔創造〕
Concept—〔概念〕
Chance—〔機会〕
Challenge—〔挑戦〕



アイデアと技術で情報産業を担う

株式会社 双林印刷社

本社・工場 〒601 京都市南区新千本通十条下ル
Tel (075) 681-7748 Fax (075) 672-5602
大阪営業所 〒530 大阪市北区西天満3丁目1番5号英和ビル902
Tel (06) 311-0489 Fax (06) 311-0493

未知なる可能性を秘めて。

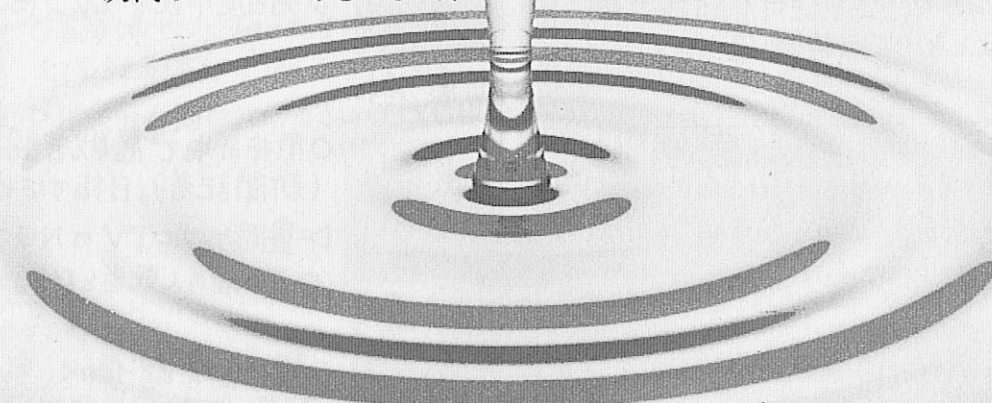
領域をさらに広げて。総合力をもっと高めて。つねに価値ある情報と製品をお届けします。

住金物産は、人と社会の夢を見つめ、その実現を応援する総合商社です。

手がける分野は鉄鋼、繊維、食糧と多彩に広がり

各種産業から身近な暮らしまでさまざまに貢献。

バランスの良い総合力と、きめ 細かな行動力をさらに生かして、
次代のニーズに対応できる新 しいかたちの商社をめざします。



鉄鋼/建設・建材・不動産/非鉄・機械・原料/寝装・テキスタイル/アパレル/食糧他

住金物産
SUMIKIN BUSSAN

大阪本社/大阪市中央区本町三丁目6番2号 TEL06 (244) 8011
東京(大手町)本社/東京都千代田区大手町二丁目2番1号 TEL03(3279)4613
東京(青山)本社/東京都港区南青山三丁目1番30号 TEL03(3478)9002

同志社グリークラブ

名誉顧問 遠藤 彰彦
顧問 澁谷 昭彦
ヴォイストレーナー 大久保 昭男

幹事 長政 佐野 泰弘
副幹事 三村 剛司
外 川島 仲規
朝間 智昭
打田 俊明
辻 健三郎
人見 幸朋
坂野 友紀
桑添 泰幸
久堀 太士
佐藤 利宏
産賀 伸一
川西 裕之
宇都 康之

会計 サブ 岩本 光司
伊藤 豪史
小寺 康治
小林 武弘
福栄 貴史
平谷 有祐
竹内 秀樹
吉武 晃
園田 誠
近藤 博和
土井 邦康
山田 正樹
谷本 啓
森 俊樹
浦川 和弘
富田 尚

メサイア実行委員会 岩佐 圭記
白川 行宏
千神 敏正
高津 智宏
福田 研二
長谷川 宏志
岡 勇蔵
東 光彦
南條 崇
亘 幸洋
八尋 秋彦
久保田 義臣
市之瀬 崇
迫 謙祐

TOP TENOR

朝間 智昭 (商4) 南山
福田 研二 (工4) 桐蔭
伊藤 豪史 (商4) 藤島
三村 剛司 (法4) 高槻北
岡 勇蔵 (商4) 明善
山田 憲成 (経4) 名大附属
東 光彦 (商3) 函館ラ・サール

川島 伸規 (商3) 浪速
小林 武弘 (工3) 龍野
森 俊樹 (文3) 金岡
梶原 亮 (神2) 神戸
久堀 太士 (経2) 日高
桑添 泰幸 (商2) 鳳
角 由久 (商2) 和歌山県立向陽

富田 尚 (経2) 高松第一
藤井 健太郎 (法1) 郁文館
池永 洋介 (文1) 済々黌
小林 宗洋 (法1) 都立小石川
長森 太郎 (文1) 川西緑台
矢野 貴久 (経1) 春日丘

SECOND TENOR

鹿島 啓 (文4) 新川
國崎 康則 (工4) 北千里
森下 貴夫 (法4) 大阪貿易学院
村田 知彦 (工4) 御影
南條 崇 (工4) 今治西
人見 幸朋 (法3) 西乙訓

岩佐 圭記 (法3) 堀川
川西 裕之 (商3) 関西大倉
坂野 友紀 (法3) 沼津東
亘 幸洋 (工3) 県立伊丹
平谷 有祐 (工2) 帝塚山
小糠 純 (文2) 松江北

園田 誠 (工2) 千里
川口 裕之 (工1) 清風
中山 聡 (経1) 暁
田栗 雅晴 (工1) 金蘭千里

BARITONE

近藤 博和 (工4) 明和
佐々木道哉 (法4) 豊岡
竹内 秀樹 (経4) 大分上野丘
谷本 啓 (商4) 新見
辻 健三郎 (経4) 岐阜
八尋 秋彦 (法4) 洛北
山口 弘 (工4) 四條畷
荒川 剛 (法3) 同志社香里
土井 邦康 (経3) 東海大仰星

長谷川 宏志 (法3) 総社南
小寺 康治 (商3) 松山東
久保田 義臣 (文3) 九州国際大附属
吉武 晃 (工3) 福岡県立京都
千神 敏正 (文2) 同志社
福栄 貴史 (工2) 三島
福原 敦士 (法2) 大阪貿易学院
高津 智宏 (工2) 愛知
上野 大介 (経2) 春日丘

宇都 康之 (商2) 新南陽
古本 健司 (文1) 市立西宮
本多 慎司 (商1) 京都府立向陽
御堂 甚昌 (工1) 北野
水野 武司 (法1) 瑞陵
坂田 善弘 (商1) 春日丘
関 安記臣 (法1) 江南
立原 太 (文1) 近江兄弟社
安池 尚志 (経1) 静岡東

BASS

浅海 誠 (法4) 天王寺
市之瀬 崇 (経4) 名古屋市立北
岩本 光司 (工4) 春日丘
三原 卓 (工4) 京教大附属
奥村 建 (工4) 平塚江南
佐野 泰弘 (法4) 春日丘
産賀 伸一 (法4) 落合
打田 俊明 (文4) 久居

吉田 泰典 (法4) 市立銚子
迫 謙祐 (法3) 北野
佐藤 嘉和 (文3) 東京農業大第二
白川 行宏 (経3) 国府
平山 直之 (経2) 春日丘
佐藤 利宏 (工2) 同志社国際
浦川 和弘 (経2) 小野
山田 正樹 (工2) 同志社

藤井 啓介 (商1) 岡山
平井 宏則 (文1) 西大和学園
広瀬 圭一 (工1) 名古屋市立向陽
中谷 統久 (法1) 近大和歌山
田中 幹人 (商1) 宇和島東
山元 進 (文1) 同志社
山名 直明 (神1) 桐蔭

第89回同志社グリークラブ定期演奏会OB協賛芳名録

今回の定期演奏会の開催にあたり、下記の先輩方の協賛を頂きました。誌上ではございますが、この場にて厚く御礼申し上げます。

同志社グリークラブ

大正15年卒	生田 定一	寸田 達	左 崇 俊彦
昭和3年卒	油谷 善次郎	中村 豊太郎	中山 澤 敬
9年卒	今西 修	村田 由英二	福中 野 宏
10年卒	笹森 井 彦	山田 昌 義	今村 幸 彦
12年卒	藤井 清男	山田 義 夫	大落 合 均
15年卒	柳原 太郎	横田 光 剛	大落 楠 木 清
17年卒	鶴原 正 惺	祖父江 中 博	多々 幸 生
21年卒	内山 盛俊	田村 文 浩	東原 正 美
24年卒	長伴 嘉彦	石田 康 慎	小田 垣 隆
26年卒	福永 嘉彦	林田 内 康	佐藤 尚 紀
27年卒	今西 政弘	山岩 木 六	小 鋒 山 良
	日下部 吉治	後藤 健 夫	松 諸 江 太
	武井 通 夫	高溝 久 次	諸 智 一
	土肥 直 和	大瀬 江 彦	中 西 信 司
	都木 正 勝	土生 康 弘	福山 田 成
28年卒	山下 山 郎	小川 徹 男	梅田 原 吉
	妹尾 康 雄	北村 徹 彦	沖佐 伯 盛
29年卒	正朝 盛 秀	木下 利 英	中瀬 戸 正
	野村 英 雄	竈 田 研 時	瀬木 寅 木
	二吉 昌 弘	栗山 井 浩	杉新 井 和
30年卒	堀本 多 省	沢谷 井 英	小伊 東 惠
	門田 耕 一	藤井 根 一	栗桑 野 陽
31年卒	小田 泰 弘	山根 上 久	廣竹 内 喜
	佐々木 幹 彦	川上 和 公	日笠 田 仁
	澁菅 野 明	矢頭 成 博	松宮 崎 雄
	菅野 昌 夫	春成 田 周	岸間 昭 一
32年卒	大島 昌 夫	足立 泰 一	小松 井 良
	森 昭 良	河原 卓 一	田村 野 常
33年卒	南迫 卓 一	大友 慶 介	小 林 茂 司
	加藤 秀 夫	森田 元 久	山本 英 裕
34年卒	小野 時 男	松村 守 信	大西 育 生
35年卒	天 野 守 信		
36年卒			

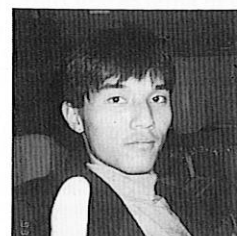
※尚、印刷の遅切の関係上、掲載できなかった先輩方もおられます。

編 集 後 記



人 見 幸 朋

この一年間、クラブで外政という仕事をやったおかげでクラブ以外に多くの人と出会うことができた。そして、多くの人に力になってもらった。それなくしては何もできないなあ実感できた一年だった。ほんまにみなさんありがとう。最後に、我々の一員、松田君が亡くなりもう8ヵ月。同じ外政で一緒に仕事をしていくはずだったのに残念でなりません。なんと言っているかわからないけど。ご冥福をお祈りいたします。



坂 野 友 紀

今までお世話になった皆様本当にありがとうございました。しかし、来年こそが勝負と思います。今後とも同Gを応援して下さい。

また、この場をお借りして、二年間、同パートであり同じ涉外だった松田君に改めて感謝し、御冥福をお祈り申し上げたいと思います。

最後になりましたが、このパンフレット制作にあたり、快く原稿依頼に応じて下さった諸先生方、公告主の皆様、双林印刷の垣東様、その他、当演奏会の開催に御尽力下さいました関係者各位、そして本日御来場いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

今後とも、同志社グリークラブを宜しくお願い申し上げます。

1993年 12月 同志社グリークラブ
マネージャー 一同

来週の金曜日、京都でまた会いましょう

▼第29回全同志社メサイア演奏会

Messiah

1993.12.24(金) 京都会館第1ホール

開場 17:30 開演 18:00

指揮 金 洪才 主催 全同志社メサイア演奏会実行委員会

〈お問い合わせ〉同志社グリークラブ・同志社交響楽団BOX 075 (251) 3185 (呼)

ALMA

SPACE

CLARA ANTONINI

PAOLA ANTONINI

Guy Laroche
Paris

EL MIDAS

WELLNESS

GENY

byblos

COMPLICE



FENDI

COOGI
AUSTRALIA

NOGARET

DE
VECCHI
ST. HAMILTON HOUSE

JOAN & DAVID

GHERARDINI

H. Stern

abbaco
MADE IN ITALY

三崎商事グループ

株式会社サラアビート
株式会社東京サンコロール
株式会社大阪サンコロール

ジェニージャパン株式会社
ビブロスジャパン株式会社
株式会社ミサキインターナショナル

株式会社源内
株式会社蓉企画
三崎商事株式会社

代表取締役社長 三 崎 政 二

東京／東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル 7 F 03-3403-4371
大阪／大阪市中央区南船場4-2-4 日本生命御堂筋ビル 5 F 06-251-1171